

1 結婚観とワーク・ライフ・バランスアンケート調査（若年層向）

（1）調査概要

旭川市内の18歳以上39歳以下の男女を対象に、結婚、妊娠、出産、子育て、ワーク・ライフ・バランスに関する意識調査を実施し、結婚や出産等に関する希望や、子どもを生み育てやすい環境について意識や意向等を把握するために実施した。

（2）調査項目

	調査項目
回答者属性	性別
	年齢
	職業
	現在の婚姻状況
結婚等への考えについて	問1 結婚への意向
	問2 交際状況
	問3 婚活状況
	問4 結婚への考え方
	問5 子どもを持つことへの考え方
	問6 夫婦の役割への考え方
	問7 女性就業への考え方
子ども・育児について	問8 子どもの有無及び人数
	問9 理想の子どもの人数
	問10 男性の家事・育児実施へのイメージ
	問11 男性の仕事以外の生活を重視した働き方への受入
	問12 女性の結婚・妊娠・出産による退職状況
ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)につ いて	問13 ワーク・ライフ・バランスの認知度
	問14 ワーク・ライフ・バランスの実現状況
	問15 ワーク・ライフ・バランスが実現できない理由
行政による支援方策につ いて	問16 行政による結婚支援方策の必要性
	問17 行政による結婚支援方策内容
	問18 行政の支援方策促進により子どもを持つことへの気持ちの変化
	問19 子どもを持ちたい気持ちになるための行政の支援方策の内容
さいごに・ご意見等	問20 意見等

(3) 調査対象

旭川市内の18歳以上39歳以下の男女2,000人(男女各1,000人)。
調査対象者の抽出方法は、住民基本台帳から層化2段無作為抽出とした。

(4) 調査時期

平成27年6月

(5) 調査方法

アンケート調査票を郵送し、郵送(返信用封筒同封(切手不要))にて回収した。

(6) 回収状況

発送数:2,000件

回収数:641件

回収率:32.1%

(7) 調査結果

※集計・分析上の注意事項

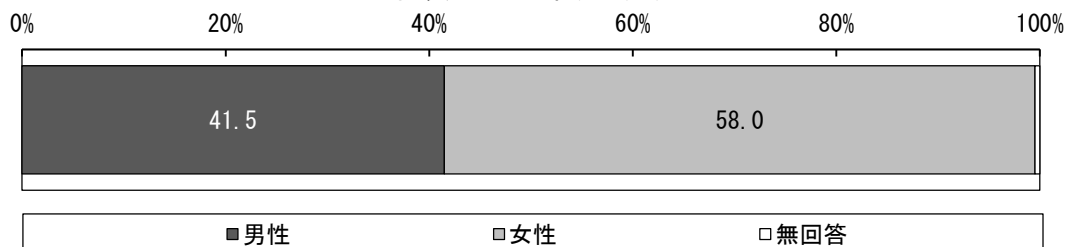
- ・図表中の上段は回答者件数、下段は構成比(%)を表している。
- ・図表中の「SA」は単数回答、「MA」複数回答を表している。
- ・図表中の構成比(%)については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100.0%にならない場合がある。

1) 回答者属性

性別

性別は、「女性」が58.0%、「男性」が41.5%となっている。
 年齢別でみると、18～19歳は男性の方が多いが、他の年齢層はいずれにおいても女性の方が多い。
 現在の婚姻状況別でみると、いずれにおいても女性の方が多い。

図表Ⅱ-1-1 性別 (SA)



		合計	男性	女性	無回答
全体		641	266	372	3
		100.0	41.5	58.0	0.5
年齢別	18～19歳	32	19	13	0
		100.0	59.4	40.6	0.0
	20～24歳	77	25	51	1
		100.0	32.5	66.2	1.3
	25～29歳	119	46	73	0
		100.0	38.7	61.3	0.0
	30～34歳	172	75	97	0
		100.0	43.6	56.4	0.0
	35～39歳	236	100	136	0
		100.0	42.4	57.6	0.0
	無回答	5	1	2	2
		100.0	20.0	40.0	40.0
現在の婚姻状況	独身 (結婚歴なし)	273	122	151	0
		100.0	44.7	55.3	0.0
	独身 (結婚歴あり)	30	9	21	0
		100.0	30.0	70.0	0.0
	既婚	325	130	195	0
	100.0	40.0	60.0	0.0	
	無回答	13	5	5	3
		100.0	38.5	38.5	23.1

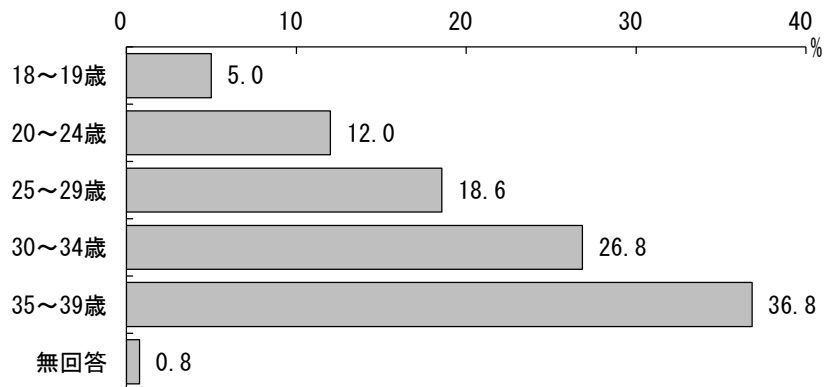
年齢

年齢は、「35～39歳」が最も多く36.8%、次いで「30～34歳」が26.8%、「25～29歳」が18.6%となっている。

性別でみると、いずれにおいても「35～39歳」が最も多い。

現在の婚姻状況別でみると、独身（結婚歴あり）と既婚は「35～39歳」が最も多く、独身（結婚歴なし）は「30～34歳」が最も多い。

図表Ⅱ-1-2 年齢 (SA)



		合計	18～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	無回答
全体		641	32	77	119	172	236	5
		100.0	5.0	12.0	18.6	26.8	36.8	0.8
性別	男性	266	19	25	46	75	100	1
		100.0	7.1	9.4	17.3	28.2	37.6	0.4
	女性	372	13	51	73	97	136	2
		100.0	3.5	13.7	19.6	26.1	36.6	0.5
	無回答	3	0	1	0	0	0	2
		100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
現在の婚姻状況	独身（結婚歴なし）	273	29	63	60	64	56	1
		100.0	10.6	23.1	22.0	23.4	20.5	0.4
	独身（結婚歴あり）	30	1	1	3	9	15	1
		100.0	3.3	3.3	10.0	30.0	50.0	3.3
	既婚	325	0	10	54	97	163	1
		100.0	0.0	3.1	16.6	29.8	50.2	0.3
	無回答	13	2	3	2	2	2	2
		100.0	15.4	23.1	15.4	15.4	15.4	15.4

職業

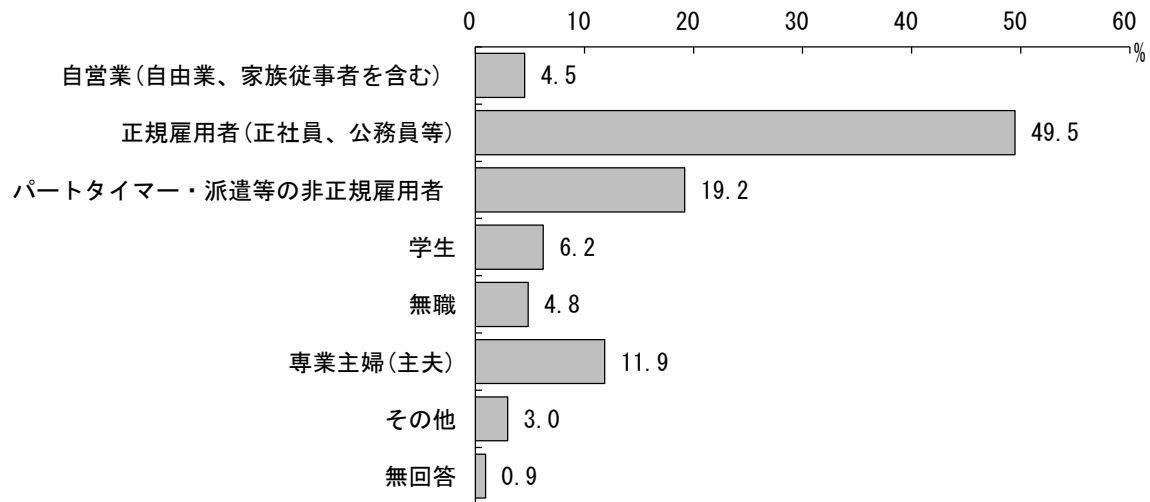
職業は、「正規雇用者（正社員、公務員等）」が最も多く48.5%、次いで「パートタイマー・派遣等の非正規雇用者」が19.2%、「専業主婦（主夫）」が11.9%となっている。

その他としては、予備校生、職業訓練中等があげられている。

性別、現在の婚姻状況別でみると、いずれにおいても「正規雇用者（正社員、公務員等）」が最も多い。

年齢別では、18～19歳は「学生」が最も多く、その他の年齢層は「正規雇用者（正社員、公務員等）」が最も多い。

図表Ⅱ-1-3 職業 (SA)



	合計	自営業 (自由業、家族従事者を含む)	正規雇用者 (正社員、公務員等)	パートタイマー・派遣等の非正規雇用者	学生	無職	専業主婦 (主夫)	その他	無回答
全体	641	29	317	123	40	31	76	19	6
	100.0	4.5	49.5	19.2	6.2	4.8	11.9	3.0	0.9
性別									
男性	266	18	166	30	21	17	0	11	3
	100.0	6.8	62.4	11.3	7.9	6.4	0.0	4.1	1.1
女性	372	11	151	93	18	14	76	8	1
	100.0	3.0	40.6	25.0	4.8	3.8	20.4	2.2	0.3
無回答	3	0	0	0	1	0	0	0	2
	100.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
年齢別									
18～19歳	32	0	6	2	21	1	0	2	0
	100.0	0.0	18.8	6.3	65.6	3.1	0.0	6.3	0.0
20～24歳	77	0	34	13	17	3	6	3	1
	100.0	0.0	44.2	16.9	22.1	3.9	7.8	3.9	1.3
25～29歳	119	5	64	27	1	6	11	5	0
	100.0	4.2	53.8	22.7	0.8	5.0	9.2	4.2	0.0
30～34歳	172	9	89	35	0	8	25	6	0
	100.0	5.2	51.7	20.3	0.0	4.7	14.5	3.5	0.0
35～39歳	236	15	123	46	1	12	33	3	3
	100.0	6.4	52.1	19.5	0.4	5.1	14.0	1.3	1.3
無回答	5	0	1	0	0	1	1	0	2
	100.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0
現在の婚姻状況									
独身 (結婚歴なし)	273	8	130	60	36	21	1	15	2
	100.0	2.9	47.6	22.0	13.2	7.7	0.4	5.5	0.7
独身 (結婚歴あり)	30	2	16	6	1	4	0	1	0
	100.0	6.7	53.3	20.0	3.3	13.3	0.0	3.3	0.0
既婚	325	19	167	54	0	5	75	3	2
	100.0	5.8	51.4	16.6	0.0	1.5	23.1	0.9	0.6
無回答	13	0	4	3	3	1	0	0	2
	100.0	0.0	30.8	23.1	23.1	7.7	0.0	0.0	15.4

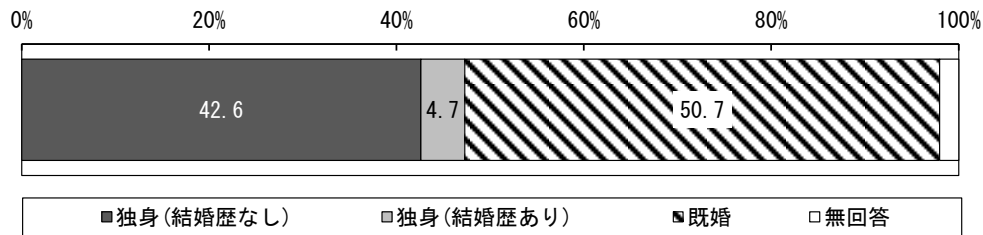
現在の婚姻状況

現在の婚姻状況は、「既婚」が最も多く50.7%、次いで「独身（結婚歴なし）」が42.6%、「独身（結婚歴あり）」が4.7%となっている。

性別でみると、いずれにおいても「既婚」が最も多い。

年齢別でみると、は18～29歳は「独身（結婚歴なし）」が最も多く、30～39歳は「既婚」が最も多い。

図表Ⅱ-1-4 現在の婚姻状況 (SA)



		合計	独身(結婚歴なし)	独身(結婚歴あり)	既婚	無回答
全体		641	273	30	325	13
		100.0	42.6	4.7	50.7	2.0
性別	男性	266	122	9	130	5
		100.0	45.9	3.4	48.9	1.9
	女性	372	151	21	195	5
	100.0	40.6	5.6	52.4	1.3	
	無回答	3	0	0	0	3
		100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
年齢別	18～19歳	32	29	1	0	2
		100.0	90.6	3.1	0.0	6.3
	20～24歳	77	63	1	10	3
		100.0	81.8	1.3	13.0	3.9
	25～29歳	119	60	3	54	2
		100.0	50.4	2.5	45.4	1.7
	30～34歳	172	64	9	97	2
	100.0	37.2	5.2	56.4	1.2	
35～39歳	236	56	15	163	2	
	100.0	23.7	6.4	69.1	0.8	
	無回答	5	1	1	1	2
		100.0	20.0	20.0	20.0	40.0

2) 結婚等への考えについて

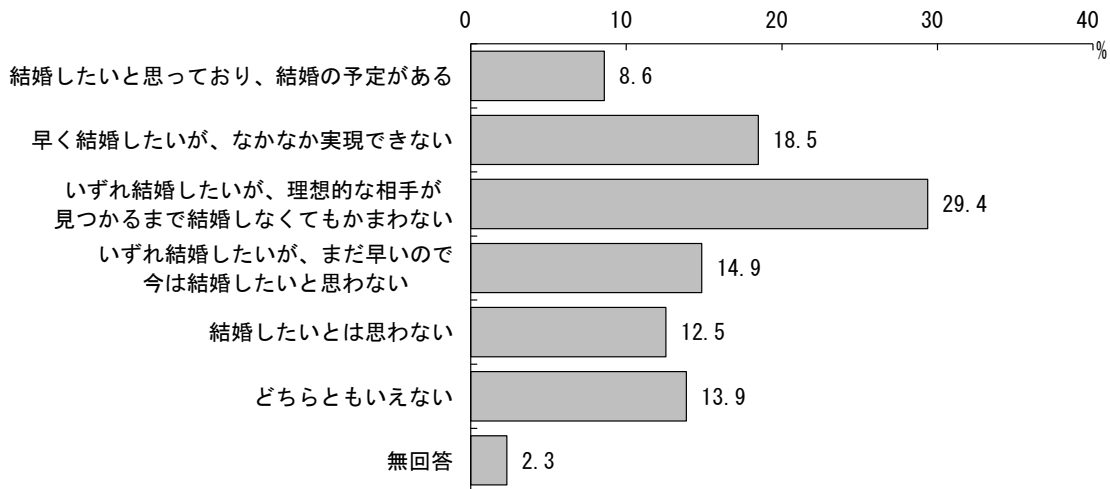
問1 <独身の方のみおうかがいします。>あなたは、結婚したいと思いますか。(○は1つ)

結婚への意向は、「いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が最も多く29.4%、次いで「早く結婚したいが、なかなか実現できない」が18.5%、「いずれ結婚したいが、まだ早いので今は結婚したいと思わない」が14.9%となっている。

性別でみると、いずれにおいても「いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が最も多い。

年齢別でみると、18～24歳は「いずれ結婚したいが、まだ早いので今は結婚したいと思わない」が最も多く、25～39歳は、「いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が最も多い。どの年齢層においても「いずれは結婚したい」との回答割合が高い。

図表Ⅱ-1-5 結婚への意向 (SA)



		合計	結婚したいと思っており、結婚の予定がある	早く結婚したいが、なかなか実現できない	いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまで結婚しなくてもかまわない	いずれ結婚したいが、まだ早いので今は結婚したいと思わない	結婚したいとは思わない	どちらともいえない	無回答	非該当
全体		303	26	56	89	45	38	42	7	338
		100.0	8.6	18.5	29.4	14.9	12.5	13.9	2.3	
性別	男性	131	13	17	39	17	21	22	2	135
		100.0	9.9	13.0	29.8	13.0	16.0	16.8	1.5	
	女性	172	13	39	50	28	17	20	5	200
	100.0	7.6	22.7	29.1	16.3	9.9	11.6	2.9		
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	3
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢別	18～19歳	30	0	1	7	10	6	5	1	2
		100.0	0.0	3.3	23.3	33.3	20.0	16.7	3.3	
	20～24歳	64	5	9	14	25	5	5	1	13
		100.0	7.8	14.1	21.9	39.1	7.8	7.8	1.6	
	25～29歳	63	9	12	20	7	4	10	1	56
		100.0	14.3	19.0	31.7	11.1	6.3	15.9	1.6	
	30～34歳	73	5	22	25	2	10	8	1	99
	100.0	6.8	30.1	34.2	2.7	13.7	11.0	1.4		
35～39歳	71	7	12	23	1	12	14	2	165	
	100.0	9.9	16.9	32.4	1.4	16.9	19.7	2.8		
	無回答	2	0	0	0	1	0	1	3	
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	
現在の婚姻状況	独身(結婚歴なし)	273	23	54	80	43	31	39	3	0
		100.0	8.4	19.8	29.3	15.8	11.4	14.3	1.1	
	独身(結婚歴あり)	30	3	2	9	2	7	3	4	0
		100.0	10.0	6.7	30.0	6.7	23.3	10.0	13.3	
	既婚	0	0	0	0	0	0	0	0	325
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	13	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

<結婚への意向（問1）×交際状況（問2）>

結婚への意向（問1）別で交際状況（問2）をみると、「結婚したいと思っており、結婚の予定がある」回答者は、「結婚を前提として交際している人がある」が最も多く96.2%だが、「早く結婚したいが、なかなか実現できない」との結婚へ前向きな意向をもっている回答者においては、「交際している人はいない」が最も多く66.1%となっている。

図表Ⅱ-1-6 結婚への意向（問1）×交際状況（問2）

	合計	問2（交際状況）						非該当	
		結婚を前提として交際している人がある	交際している人があるが、結婚するかはわからない	交際している人があるが、結婚はしないと思う	交際している人はいない	その他	無回答		
全体	303 100.0	38 12.5	8 2.6	208 68.6	2 0.7	9 3.0	338		
問1 （結婚への意向）	結婚したいと思っており、結婚の予定がある	26 100.0	25 96.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	0	
	早く結婚したいが、なかなか実現できない	56 100.0	5 8.9	11 19.6	1 1.8	37 66.1	2 3.6	0	
	いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまで結婚しなくてもかまわない	89 100.0	3 3.4	6 6.7	2 2.2	77 86.5	1 1.1	0	
	いずれ結婚したいが、まだ早いので今は結婚したいと思わない	45 100.0	4 8.9	14 31.1	2 4.4	25 55.6	0 0.0	0	
	結婚したいとは思わない	38 100.0	0 0.0	1 2.6	3 7.9	34 89.5	0 0.0	0	
	どちらともいえない	42 100.0	1 2.4	5 11.9	0 0.0	31 73.8	2 4.8	3 7.1	0
	無回答	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	4 57.1	2 28.6	0	

<結婚への意向（問1）×婚活状況（問3）>

結婚への意向（問1）別で婚活状況（問3）をみると、「早く結婚したいが、なかなか実現できない」との結婚へ前向きな意向をもっている回答者において、「（婚活は）していない」が最も多く51.8%、次いで「これからしてみたい」が26.8%となっている。

図表Ⅱ-1-7 結婚への意向（問1）×婚活状況（問3）

	合計	問3（婚活状況）				無回答	非該当		
		現在している	以前はしていたが、今はしていない	していない	これからしてみたい				
全体	303 100.0	19 6.3	15 5.0	232 76.6	31 10.2	2 0.7	4 1.3	338	
問1 （結婚への意向）	結婚したいと思っており、結婚の予定がある	26 100.0	3 11.5	3 11.5	19 73.1	0 0.0	0 3.8	1 0	0
	早く結婚したいが、なかなか実現できない	56 100.0	5 8.9	6 10.7	29 51.8	15 26.8	1 1.8	0 0	0
	いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまで結婚しなくてもかまわない	89 100.0	10 11.2	3 3.4	63 70.8	12 13.5	1 0.0	0 0.0	0
	いずれ結婚したいが、まだ早いので今は結婚したいと思わない	45 100.0	1 2.2	0 0.0	40 88.9	4 8.9	0 0.0	0 0.0	0
	結婚したいとは思わない	38 100.0	0 0.0	1 2.6	37 97.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	どちらともいえない	42 100.0	0 0.0	1 2.4	40 95.2	0 0.0	1 2.4	0 0.0	0
	無回答	7 100.0	0 0.0	1 14.3	4 57.1	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0

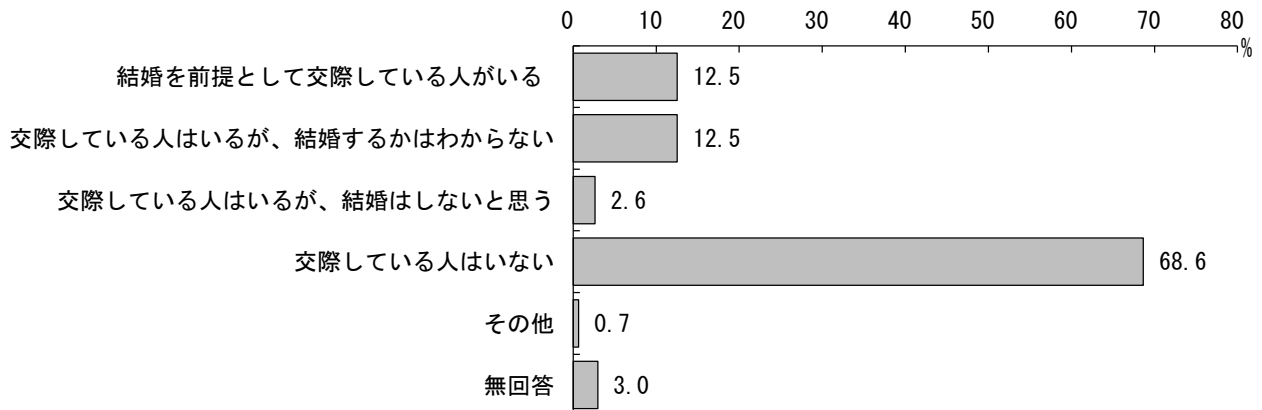
問2 <独身の方のみおうかがいします>現在、交際している人はいますか。(○は1つ)

交際状況は、「交際している人はいない」が最も多く68.6%、次いで「結婚を前提として交際している人がある」「交際している人はいるが、結婚するかはわからない」が12.5%、「交際している人はいるが、結婚はしないと思う」が2.6%となっている。

その他としては、交際している人が同性であり結婚できない等があげられている。

性別、年齢別、独身者の結婚歴の有無別でみると、いずれにおいても「交際している人はいない」が最も多くあげられている。

図表Ⅱ-1-8 交際状況 (SA)



		合計	結婚を前提として交際している人がある	交際している人はいるが、結婚するかはわからない	交際している人はいるが、結婚はしないと思う	交際している人はいない	その他	無回答	非該当
全体		303 100.0	38 12.5	38 12.5	8 2.6	208 68.6	2 0.7	9 3.0	338
性別	男性	131 100.0	16 12.2	11 8.4	4 3.1	92 70.2	1 0.8	7 5.3	135
	女性	172 100.0	22 12.8	27 15.7	4 2.3	116 67.4	1 0.6	2 1.2	200
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3
年齢別	18～19歳	30 100.0	0 0.0	1 3.3	4 13.3	25 83.3	0 0.0	0 0.0	2
	20～24歳	64 100.0	7 10.9	11 17.2	1 1.6	45 70.3	0 0.0	0 0.0	13
	25～29歳	63 100.0	12 19.0	5 7.9	0 0.0	41 65.1	1 1.6	4 6.3	56
	30～34歳	73 100.0	11 15.1	13 17.8	2 2.7	45 61.6	0 0.0	2 2.7	99
	35～39歳	71 100.0	8 11.3	8 11.3	1 1.4	50 70.4	1 1.4	3 4.2	165
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	3
現在の婚姻状況	独身(結婚歴なし)	273 100.0	34 12.5	34 12.5	6 2.2	191 70.0	2 0.7	6 2.2	0
	独身(結婚歴あり)	30 100.0	4 13.3	4 13.3	2 6.7	17 56.7	0 0.0	3 10.0	0
	既婚	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	325
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13

<交際状況（問2）×結婚への意向（問1）>

交際状況（問2）別で結婚への意向（問1）をみると、「交際している人はいない」との回答者において、「いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまで結婚しなくてもかまわない」が最も多く37.0%、次いで「早く結婚したいがなかなか実現できない」が17.8%となっている。

図表Ⅱ-1-9 交際状況（問2）×結婚への意向（問1）

	合計	問1（結婚への意向）							無回答	非該当
		結婚したいと思っており、結婚の予定がある	早く結婚したいが、なかなか実現できない	いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまで結婚しなくてもかまわない	いずれ結婚したいが、まだ早いので今は結婚したいと思わない	結婚したいとは思わない	どちらともいえない			
全体	303 100.0	26 8.6	56 18.5	89 29.4	45 14.9	38 12.5	42 13.9	7 2.3	338	
問2 （交際状況）	結婚を前提として交際している人がある	38 100.0	25 65.8	5 13.2	3 7.9	4 10.5	0 0.0	1 2.6	0 0.0	
	交際している人はいるが、結婚するかはわからない	38 100.0	0 0.0	11 28.9	6 15.8	14 36.8	1 2.6	5 13.2	1 2.6	
	交際している人はいるが、結婚はしないと思う	8 100.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	
	交際している人はいない	208 100.0	0 0.0	37 17.8	77 37.0	25 12.0	34 16.3	31 14.9	4 1.9	
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	
	無回答	9 100.0	1 11.1	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0	3 33.3	2 22.2	

<交際状況（問2）×婚活状況（問3）>

交際状況（問2）別で婚活状況（問3）をみると、「交際している人はいない」との回答者において、「(婚活は)していない」が最も多く76.0%だが、次いで「(婚活を)これからしてみたい」が13.0%となっている。

図表Ⅱ-1-10 交際状況（問2）×婚活状況（問3）

	合計	問3（婚活状況）					無回答	非該当
		現在している	以前はしていたが、今はしていない	していない	これからしてみたい	その他		
全体	303 100.0	19 6.3	15 5.0	232 76.6	31 10.2	2 0.7	4 1.3	338
問2 （交際状況）	結婚を前提として交際している人がある	38 100.0	4 10.5	3 7.9	30 78.9	1 2.6	0 0.0	0 0.0
	交際している人はいるが、結婚するかはわからない	38 100.0	1 2.6	4 10.5	31 81.6	2 5.3	0 0.0	0 0.0
	交際している人はいるが、結婚はしないと思う	8 100.0	0 0.0	0 0.0	6 75.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0
	交際している人はいない	208 100.0	14 6.7	8 3.8	158 76.0	27 13.0	1 0.5	0 0.0
	その他	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	9 100.0	0 0.0	0 0.0	5 55.6	0 0.0	0 0.0	4 44.4

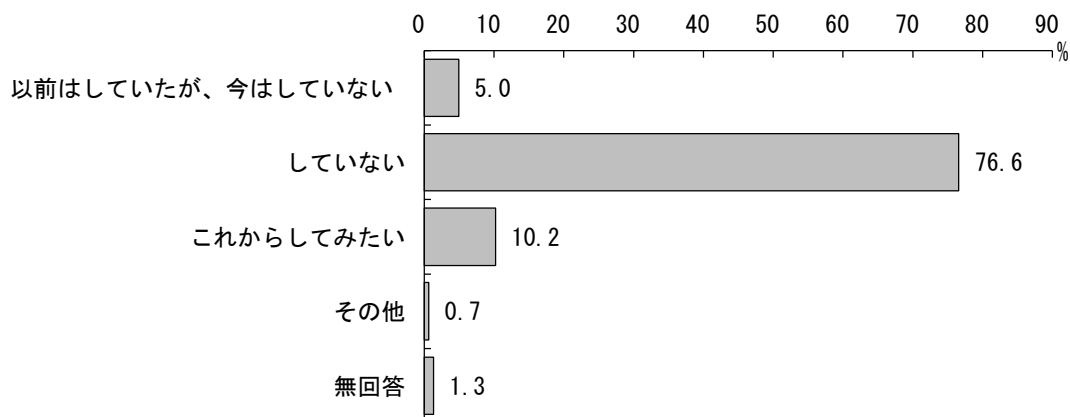
問3 <独身の方のみおうかがいします>現在、婚活（結婚するための活動）をしていますか。（〇は1つ）

婚活状況は、「していない」が最も多く76.6%、次いで「これからしてみたい」が10.2%、「以前はしていたが、今はしていない」が5.0%となっている。

その他としては、子持ちの為なかなか難しい等があげられている。

性別、年齢別、独身者の結婚歴の有無別でみると、いずれにおいても「していない」が最も多くあげられている。

図表Ⅱ-1-11 婚活状況 (SA)



		合計	現在している	以前はしていたが、今はしていない	していない	これからしてみたい	その他	無回答	非該当
全体		303 100.0	19 6.3	15 5.0	232 76.6	31 10.2	2 0.7	4 1.3	338
性別	男性	131 100.0	8 6.1	4 3.1	101 77.1	15 11.5	0 0.0	3 2.3	135
	女性	172 100.0	11 6.4	11 6.4	131 76.2	16 9.3	2 1.2	1 0.6	200
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3
年齢別	18～19歳	30 100.0	0 0.0	0 0.0	29 96.7	1 3.3	0 0.0	0 0.0	2
	20～24歳	64 100.0	3 4.7	0 0.0	53 82.8	8 12.5	0 0.0	0 0.0	13
	25～29歳	63 100.0	5 7.9	3 4.8	47 74.6	6 9.5	1 1.6	1 1.6	56
	30～34歳	73 100.0	8 11.0	6 8.2	48 65.8	9 12.3	1 1.4	1 1.4	99
	35～39歳	71 100.0	3 4.2	6 8.5	53 74.6	7 9.9	0 0.0	2 2.8	165
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3
現在の婚姻状況	独身（結婚歴なし）	273 100.0	18 6.6	13 4.8	208 76.2	29 10.6	2 0.7	3 1.1	0
	独身（結婚歴あり）	30 100.0	1 3.3	2 6.7	24 80.0	2 6.7	0 0.0	1 3.3	0
	既婚	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	325
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13

問4 「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」という考え方をどのように思いますか。(○は1つ)

結婚への考え方は、「そう思う」が最も多く53.2%、次いで「どちらかといえばそう思う」が31.2%、「どちらかといえばそう思わない」が7.6%となっている。

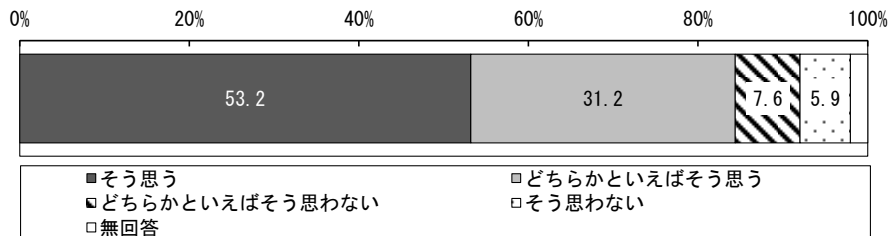
そう思う（そう思う+どちらかといえばそう思う）との回答割合は、84.4%で8割以上が結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」と思っている。

性別でみると、そう思う（そう思う+どちらかといえばそう思う）との回答割合は、男性は80.1%、女性は87.9%となっている。

年齢別でみると、そう思う（そう思う+どちらかといえばそう思う）との回答割合は、18～24歳は9割を超えている。

現在の婚姻状況別でみると、独身者は結婚歴なしが87.5%、結婚歴ありが86.7%、既婚者は81.8%となっている。

図表Ⅱ-1-12 結婚への考え方 (SA)



		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答
全体		641	341	200	49	38	13
		100.0	53.2	31.2	7.6	5.9	2.0
性別	男性	266	130	83	24	23	6
		100.0	48.9	31.2	9.0	8.6	2.3
	女性	372	210	117	25	14	6
	100.0	56.5	31.5	6.7	3.8	1.6	
	無回答	3	1	0	0	1	1
	100.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	
年齢別	18～19歳	32	21	8	0	3	0
		100.0	65.6	25.0	0.0	9.4	0.0
	20～24歳	77	48	23	1	5	0
		100.0	62.3	29.9	1.3	6.5	0.0
	25～29歳	119	63	38	7	9	2
		100.0	52.9	31.9	5.9	7.6	1.7
30～34歳	172	97	53	10	7	5	
	100.0	56.4	30.8	5.8	4.1	2.9	
35～39歳	236	111	77	31	13	4	
	100.0	47.0	32.6	13.1	5.5	1.7	
	無回答	5	1	1	0	1	2
	100.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	
現在の 婚姻状況	独身 (結婚歴なし)	273	146	93	11	16	7
		100.0	53.5	34.1	4.0	5.9	2.6
	独身 (結婚歴あり)	30	19	7	1	1	2
		100.0	63.3	23.3	3.3	3.3	6.7
既婚	325	169	97	36	20	3	
	100.0	52.0	29.8	11.1	6.2	0.9	
	無回答	13	7	3	1	1	1
	100.0	53.8	23.1	7.7	7.7	7.7	

問5 「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方をどのように思いますか。(〇は1つ)

子どもを持つことへ考え方は、「そう思う」が最も多く41.5%、次いで「どちらかといえばそう思う」が27.0%、「どちらかといえばそう思わない」が20.4%となっている。

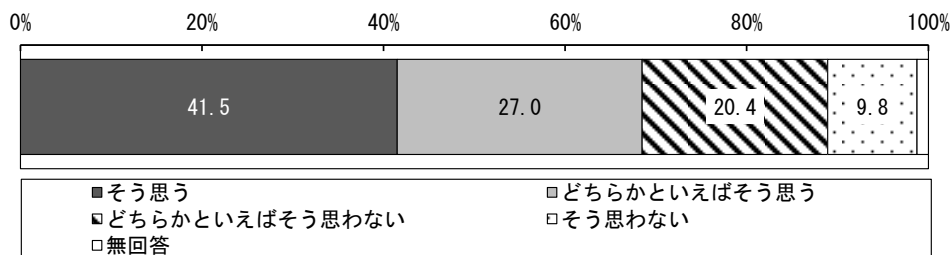
そう思う(そう思う+どちらかといえばそう思う)との回答割合は、68.5%で約7割が「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」と思っている。

性別でみると、そう思う(そう思う+どちらかといえばそう思う)との回答割合は、男性は59.0%、女性は75.3%となっている。

年齢別でみると、そう思う(そう思う+どちらかといえばそう思う)との回答割合は、20~24歳と30~34歳は7割を超えている。

現在の婚姻状況別でみると、独身(結婚歴あり)が7割を超えている。

図表Ⅱ-1-13 子どもを持つことへ考え方 (SA)



		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答
全体		641	266	173	131	63	8
		100.0	41.5	27.0	20.4	9.8	1.2
性別	男性	266	90	67	63	44	2
		100.0	33.8	25.2	23.7	16.5	0.8
	女性	372	174	106	68	19	5
		100.0	46.8	28.5	18.3	5.1	1.3
	無回答	3	2	0	0	0	1
		100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
年齢別	18~19歳	32	10	10	7	5	0
		100.0	31.3	31.3	21.9	15.6	0.0
	20~24歳	77	41	15	12	8	1
		100.0	53.2	19.5	15.6	10.4	1.3
	25~29歳	119	48	34	25	11	1
		100.0	40.3	28.6	21.0	9.2	0.8
	30~34歳	172	76	47	30	17	2
		100.0	44.2	27.3	17.4	9.9	1.2
	35~39歳	236	89	66	57	22	2
		100.0	37.7	28.0	24.2	9.3	0.8
	無回答	5	2	1	0	0	2
		100.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0
現在の 婚姻状況	独身 (結婚歴なし)	273	111	74	55	31	2
		100.0	40.7	27.1	20.1	11.4	0.7
	独身 (結婚歴あり)	30	15	6	4	4	1
		100.0	50.0	20.0	13.3	13.3	3.3
	既婚	325	132	91	71	27	4
		100.0	40.6	28.0	21.8	8.3	1.2
	無回答	13	8	2	1	1	1
		100.0	61.5	15.4	7.7	7.7	7.7

問6 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方をどのように思いますか。(〇は1つ)

夫婦の役割への考え方は、「そう思わない」が最も多く49.1%、次いで「どちらかといえばそう思わない」が25.9%、「どちらかといえばそう思う」が19.7%となっている。

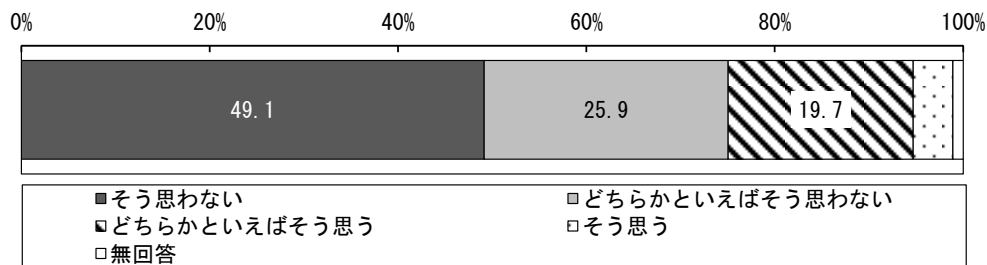
そう思わない(そう思わない+どちらかといえばそう思わない)との回答割合は、75.0%で7割以上が「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」とは思っていない。

性別でみると、そう思わない(思わない+どちらかといえばそう思わない)との回答割合は、男性は77.1%、女性は73.7%となっている。

年齢別でみると、18～19歳は90.6%で9割を超えている。その他30～34歳を除くと7割を超えている。

現在の婚姻状況別でみると、独身(結婚歴あり)が8割を超えている。

図表Ⅱ-1-14 夫婦の役割への考え方 (SA)



		合計	そう思わない	どちらかといえばそう思わない	どちらかといえばそう思う	そう思う	無回答
全体		641 100.0	315 49.1	166 25.9	126 19.7	27 4.2	7 1.1
性別	男性	266 100.0	141 53.0	64 24.1	44 16.5	15 5.6	2 0.8
	女性	372 100.0	172 46.2	102 27.4	82 22.0	12 3.2	4 1.1
	無回答	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
年齢別	18～19歳	32 100.0	18 56.3	11 34.4	3 9.4	0 0.0	0 0.0
	20～24歳	77 100.0	41 53.2	16 20.8	19 24.7	1 1.3	0 0.0
	25～29歳	119 100.0	66 55.5	27 22.7	22 18.5	3 2.5	1 0.8
	30～34歳	172 100.0	75 43.6	45 26.2	35 20.3	15 8.7	2 1.2
	35～39歳	236 100.0	114 48.3	66 28.0	46 19.5	7 3.0	3 1.3
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
	現在の婚姻状況	独身(結婚歴なし)	273 100.0	131 48.0	72 26.4	63 23.1	5 1.8
	独身(結婚歴あり)	30 100.0	22 73.3	2 6.7	4 13.3	2 6.7	0 0.0
	既婚	325 100.0	154 47.4	89 27.4	59 18.2	19 5.8	4 1.2
	無回答	13 100.0	8 61.5	3 23.1	0 0.0	1 7.7	1 7.7

問7 女性が仕事をもつことについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

女性就業への考え方は、「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が最も多く36.0%、次いで「子どもができて、ずっと仕事を続けるほうがよい」が32.3%となっている。

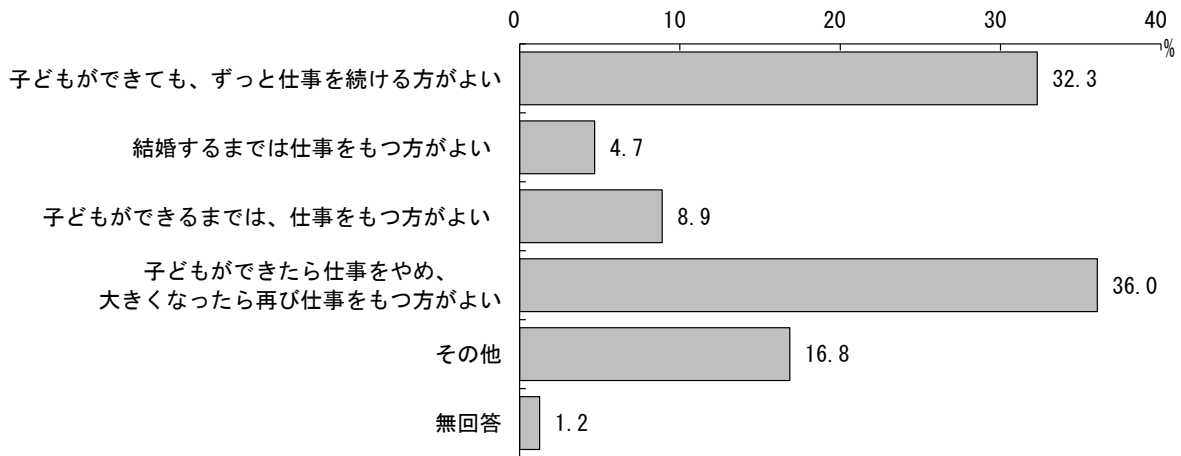
その他としては、個人の自由、個人の意思を尊重すべき、どちらでもいい等があげられている。

性別でみると、いずれにおいても「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が最も多い。

年齢別でみると、18～34歳は「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が最も多く、35～39歳は「子どもができて、ずっと仕事を続けるほうがよい」が最も多くあげられている。

現在の婚姻状況別でみると、独身（結婚歴なし）及び既婚は「子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」が最も多く、独身（結婚歴あり）は「子どもができて、ずっと仕事を続けるほうがよい」が最も多くあげられている。

図表Ⅱ-1-15 女性就業への考え方 (SA)



		合計	子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい	結婚するまでは仕事をもつ方がよい	子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい	子どもができれば仕事をやめ、大きくなったら再び仕事をもつ方がよい	その他	無回答
全体		641	207	30	57	231	108	8
		100.0	32.3	4.7	8.9	36.0	16.8	1.2
性別	男性	266	94	9	22	98	40	3
		100.0	35.3	3.4	8.3	36.8	15.0	1.1
	女性	372	111	21	35	133	68	4
	100.0	29.8	5.6	9.4	35.8	18.3	1.1	
	無回答	3	2	0	0	0	0	1
	100.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
年齢別	18～19歳	32	8	2	4	13	5	0
		100.0	25.0	6.3	12.5	40.6	15.6	0.0
	20～24歳	77	19	9	10	31	8	0
		100.0	24.7	11.7	13.0	40.3	10.4	0.0
	25～29歳	119	43	7	7	45	17	0
		100.0	36.1	5.9	5.9	37.8	14.3	0.0
	30～34歳	172	51	8	19	59	33	2
	100.0	29.7	4.7	11.0	34.3	19.2	1.2	
35～39歳	236	85	4	17	81	45	4	
	100.0	36.0	1.7	7.2	34.3	19.1	1.7	
	無回答	5	1	0	0	2	0	2
	100.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	
現在の婚姻状況	独身(結婚歴なし)	273	74	20	34	101	41	3
		100.0	27.1	7.3	12.5	37.0	15.0	1.1
	独身(結婚歴あり)	30	13	0	3	9	4	1
		100.0	43.3	0.0	10.0	30.0	13.3	3.3
	既婚	325	114	10	19	118	61	3
	100.0	35.1	3.1	5.8	36.3	18.8	0.9	
	無回答	13	6	0	1	3	2	1
	100.0	46.2	0.0	7.7	23.1	15.4	7.7	

3) 子ども・育児について

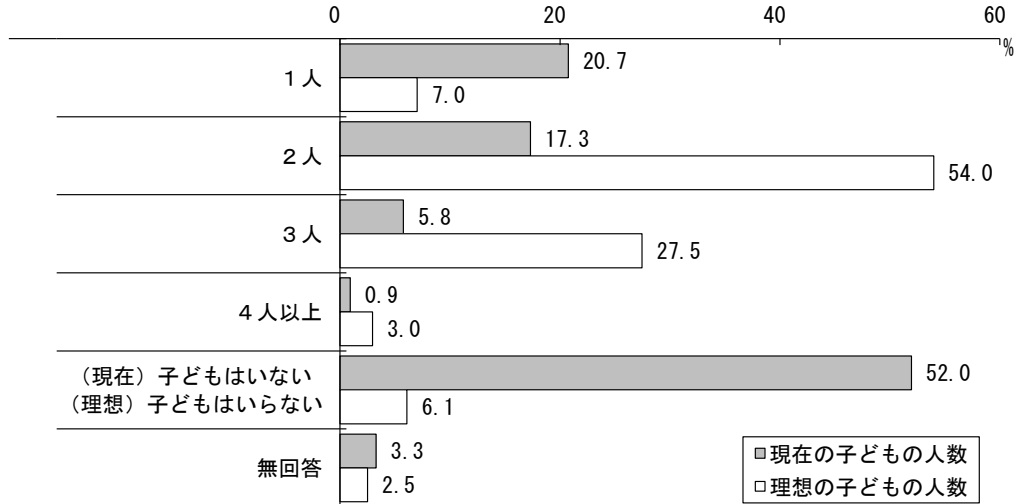
問8 あなたには何人のお子さまがいらっしゃいますか。(〇は1つ)

問9 あなたが、できれば持きたい「理想」のお子さまの数は何人ですか。(〇は1つ)

現在の子どもの有無及び人数は、「子どもはいない」が最も多く52.0%、次いで「1人」が20.7%、「2人」が17.3%となっている。

理想の子ども的人数は、「2人」が最も多く54.0%、次いで「3人」が27.5%、「1人」が7.0%となっている。

図表Ⅱ-1-16 子どもの有無及び人数、理想の子ども的人数 (SA)



	問8 (子どもの有無及び人数)								問9 (理想の子ども的人数)							
	合計	1人	2人	3人	4人以上	子どもは いない	無回答	合計	1人	2人	3人	4人以上	子どもは いない	無回答		
全体	641 100.0	133 20.7	111 17.3	37 5.8	6 0.9	333 52.0	21 3.3	641 100.0	45 7.0	346 54.0	176 27.5	19 3.0	39 6.1	16 2.5		
性別	男性	266 100.0	53 19.9	43 16.2	14 5.3	3 1.1	144 54.1	9 3.4	266 100.0	25 9.4	140 52.6	65 24.4	10 3.8	20 7.5	6 2.3	
	女性	372 100.0	80 21.5	68 18.3	23 6.2	3 0.8	187 50.3	11 3.0	372 100.0	20 5.4	205 55.1	110 29.6	9 2.4	19 5.1	9 2.4	
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	
年齢別	18～19歳	32 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	31 96.9	1 3.1	32 100.0	2 6.3	21 65.6	3 9.4	1 3.1	4 12.5	1 3.1	
	20～24歳	77 100.0	6 7.8	3 3.9	0 0.0	0 0.0	64 83.1	4 5.2	77 100.0	2 2.6	51 66.2	18 23.4	1 1.3	4 5.2	1 1.3	
	25～29歳	119 100.0	25 21.0	6 5.0	1 0.8	1 0.8	83 69.7	3 2.5	119 100.0	12 10.1	61 51.3	34 28.6	2 1.7	7 5.9	3 2.5	
	30～34歳	172 100.0	45 26.2	35 20.3	12 7.0	1 0.6	72 41.9	7 4.1	172 100.0	12 7.0	96 55.8	47 27.3	4 2.3	8 4.7	5 2.9	
	35～39歳	236 100.0	57 24.2	65 27.5	24 10.2	4 1.7	81 34.3	5 2.1	236 100.0	17 7.2	114 48.3	74 31.4	11 4.7	16 6.8	4 1.7	
	無回答	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	5 100.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	
現在の 婚姻状況	独身 (結婚歴なし)	273 100.0	4 1.5	2 0.7	0 0.0	0 0.0	247 90.5	20 7.3	273 100.0	25 9.2	165 60.4	38 13.9	4 1.5	30 11.0	11 4.0	
	独身 (結婚歴あり)	30 100.0	13 43.3	10 33.3	1 3.3	0 0.0	6 20.0	0 0.0	30 100.0	2 6.7	18 60.0	5 16.7	0 0.0	2 6.7	3 10.0	
	既婚	325 100.0	116 35.7	99 30.5	34 10.5	6 1.8	70 21.5	0 0.0	325 100.0	18 5.5	156 48.0	130 40.0	14 4.3	6 1.8	1 0.3	
	無回答	13 100.0	0 0.0	0 0.0	2 15.4	0 0.0	10 76.9	1 7.7	13 100.0	0 0.0	7 53.8	3 23.1	1 7.7	1 7.7	1 7.7	

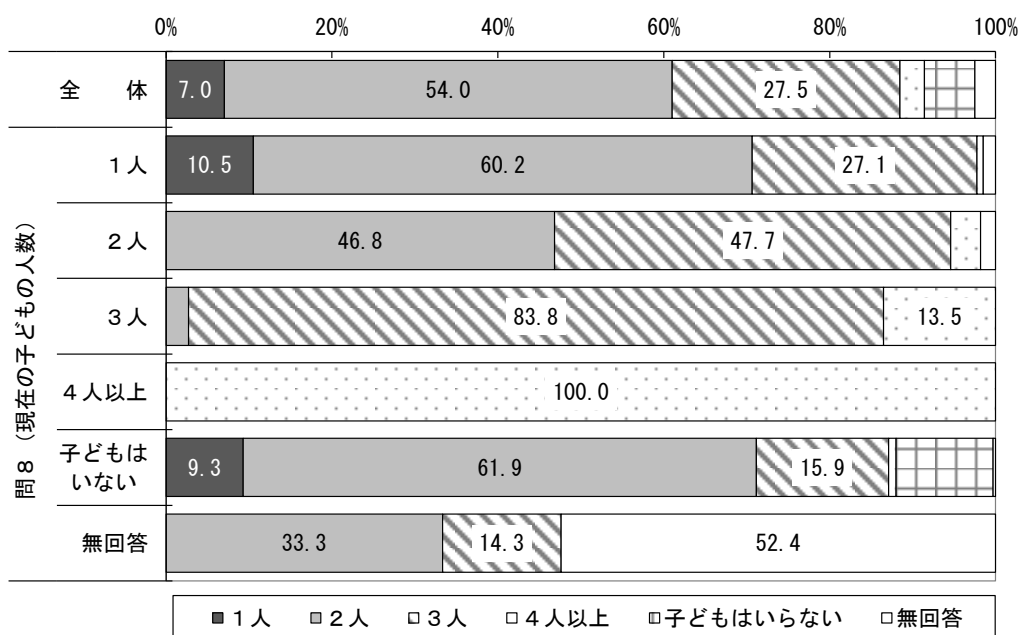
<子どもの有無及び人数別での理想の子どもの人数>

現在の子どもの有無及び人数別で理想の子どもの人数をみると、現在「1人」子どもがいる人のうち60.2%が理想としては「2人」の子どもが欲しいと思っている。また、27.1%は「3人」の子どもが欲しいと思っている。現在「2人」子どもがいる人のうち47.7%が理想としては「3人」の子どもが欲しいと思っている。現在子どもが1人もしくは、2人の人は、理想としては、もう1人以上欲しいと思っている割合が高い。

現在「3人」子どもがいる人のうち83.8%が、理想も「3人」と回答している。現在「4人以上」子どもがいる人のうち100.0%が、理想も「4人以上」と回答している。

現在「子どもがいない」人のうち61.9%が、理想としては「2人」の子どもが欲しいと思っている。

図表Ⅱ-1-17 子どもの有無及び人数、理想の子どもの人数 (SA)



		合計	問9 (理想の子どもの人数)					
			1人	2人	3人	4人以上	子どもは いない	無回答
全体		641	45	346	176	19	39	16
		100.0	7.0	54.0	27.5	3.0	6.1	2.5
問8 (現在の子ども数)	1人	133	14	80	36	1	0	2
		100.0	10.5	60.2	27.1	0.8	0.0	1.5
	2人	111	0	52	53	4	0	2
		100.0	0.0	46.8	47.7	3.6	0.0	1.8
	3人	37	0	1	31	5	0	0
		100.0	0.0	2.7	83.8	13.5	0.0	0.0
4人以上	6	0	0	0	6	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
子どもは いない	333	31	206	53	3	39	1	
	100.0	9.3	61.9	15.9	0.9	11.7	0.3	
無回答	21	0	7	3	0	0	11	
	100.0	0.0	33.3	14.3	0.0	0.0	52.4	

問10 男性が家事・育児を行うことについて、最も当てはまるイメージはどれですか。(〇は1つ)

男性の家事・育児実施へのイメージは、「子どもにいい影響を与える」が最も多く26.5%、次いで「男性も家事・育児を行うことは当然である」が24.8%、「仕事と両立させることは、現実として難しい」が19.8%となっている。

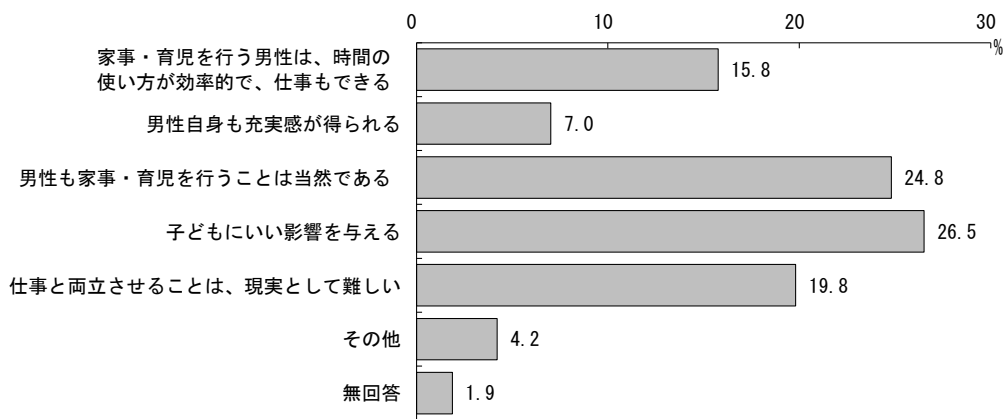
その他としては、出来ることをお互いにすればいい、育児は一緒に行った方がいい等があげられている。

性別では、男性は「男性も家事・育児を行うことは当然である」が最も多く、女性は「子どもにいい影響を与える」が最も多くあげられている。

年齢別でみると、18～24歳は「子どもにいい影響を与える」が最も多く、25～39歳は「男性も家事・育児を行うことは当然である」が最も多くあげられている。

現在の婚姻状況別でみると、独身（結婚歴なし）は「子どもにいい影響を与える」が最も多く、既婚は「男性も家事・育児を行うことは当然である」が最も多い。

図表Ⅱ-1-18 男性の家事・育児実施へのイメージ (SA)



	合計	家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる	男性自身も充実感が得られる	男性も家事・育児を行うことは当然である	子どもにいい影響を与える	仕事と両立させることは、現実として難しい	その他	無回答
全体	641	101	45	159	170	127	27	12
	100.0	15.8	7.0	24.8	26.5	19.8	4.2	1.9
性別								
男性	266	37	23	80	46	63	12	5
	100.0	13.9	8.6	30.1	17.3	23.7	4.5	1.9
女性	372	64	22	78	123	64	15	6
	100.0	17.2	5.9	21.0	33.1	17.2	4.0	1.6
無回答	3	0	0	1	1	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
年齢別								
18～19歳	32	8	2	3	14	5	0	0
	100.0	25.0	6.3	9.4	43.8	15.6	0.0	0.0
20～24歳	77	15	5	12	25	17	2	1
	100.0	19.5	6.5	15.6	32.5	22.1	2.6	1.3
25～29歳	119	20	5	31	30	24	5	4
	100.0	16.8	4.2	26.1	25.2	20.2	4.2	3.4
30～34歳	172	25	13	46	40	35	9	4
	100.0	14.5	7.6	26.7	23.3	20.3	5.2	2.3
35～39歳	236	33	20	65	60	45	11	2
	100.0	14.0	8.5	27.5	25.4	19.1	4.7	0.8
無回答	5	0	0	2	1	1	0	1
	100.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0
現在の婚姻状況								
独身（結婚歴なし）	273	54	18	53	72	57	9	10
	100.0	19.8	6.6	19.4	26.4	20.9	3.3	3.7
独身（結婚歴あり）	30	6	2	8	8	6	0	0
	100.0	20.0	6.7	26.7	26.7	20.0	0.0	0.0
既婚	325	39	25	95	84	63	18	1
	100.0	12.0	7.7	29.2	25.8	19.4	5.5	0.3
無回答	13	2	0	3	6	1	0	1
	100.0	15.4	0.0	23.1	46.2	7.7	0.0	7.7

問 11 男性が仕事以外の生活も重視した働き方を選択することについて、最も受け入れられるものはどれだと思いますか。(○は1つ)

男性の仕事以外の生活を重視した働き方への受入は、「リフレッシュのための休暇を取得する」が最も多く32.8%、次いで「育児・介護のための休暇を取得する」が28.2%、「育児・介護のための短時間勤務制度を活用する」が20.6%となっている。

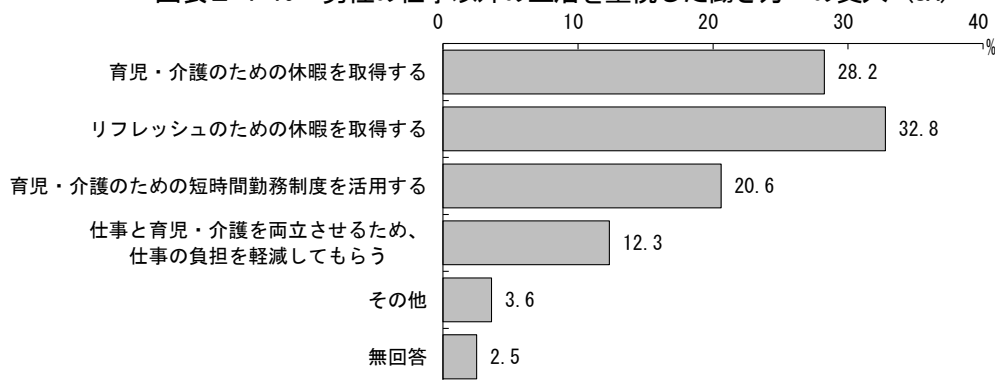
その他としては、現実には難しいと思う、休暇を取ったら出世できない、有給休暇を取りやすい環境を作るべき、残業をなくすなどが良い等があげられている。

性別で見ると、いずれにおいても「リフレッシュのための休暇を取得する」が最も多い。

年齢別では、18～24歳は「育児・介護のための休暇を取得する」が最も多く、25～39歳は「リフレッシュのための休暇を取得する」が最も多い。

現在の婚姻状況別で見ると、独身（結婚歴なし）と既婚は「リフレッシュのための休暇を取得する」が最も多く、独身（結婚歴あり）は、「育児・介護のための短時間勤務制度を活用する」が最も多い。

図表Ⅱ-1-19 男性の仕事以外の生活を重視した働き方への受入 (SA)



		合計	育児・介護のための休暇を取得する	リフレッシュのための休暇を取得する	育児・介護のための短時間勤務制度を活用する	仕事と育児・介護を両立させるため、仕事の負担を軽減してもらう	その他	無回答
全体		641 100.0	181 28.2	210 32.8	132 20.6	79 12.3	23 3.6	16 2.5
性別	男性	266 100.0	79 29.7	89 33.5	41 15.4	41 15.4	8 3.0	8 3.0
	女性	372 100.0	101 27.2	120 32.3	91 24.5	38 10.2	15 4.0	7 1.9
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
年齢別	18～19歳	32 100.0	11 34.4	10 31.3	7 21.9	2 6.3	2 6.3	0 0.0
	20～24歳	77 100.0	31 40.3	21 27.3	14 18.2	10 13.0	1 1.3	0 0.0
	25～29歳	119 100.0	34 28.6	40 33.6	25 21.0	13 10.9	3 2.5	4 3.4
	30～34歳	172 100.0	49 28.5	59 34.3	34 19.8	16 9.3	6 3.5	8 4.7
	35～39歳	236 100.0	54 22.9	79 33.5	52 22.0	37 15.7	11 4.7	3 1.3
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0
現在の婚姻状況	独身(結婚歴なし)	273 100.0	83 30.4	87 31.9	50 18.3	31 11.4	11 4.0	11 4.0
	独身(結婚歴あり)	30 100.0	7 23.3	7 23.3	8 26.7	4 13.3	3 10.0	1 3.3
	既婚	325 100.0	85 26.2	112 34.5	73 22.5	43 13.2	9 2.8	3 0.9
	無回答	13 100.0	6 46.2	4 30.8	1 7.7	1 7.7	0 0.0	1 7.7

問12 <お子さまがいる方におうかがいします>

あなたが女性の場合、結婚・妊娠・出産により、仕事をやめましたか。(〇は1つ)

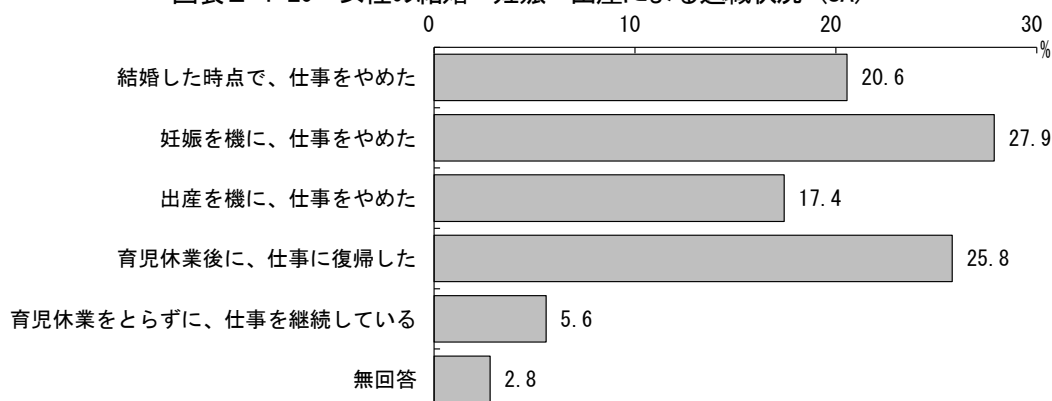
※あなたが男性の場合は、妻がどうしたかをお答えください。

女性の結婚・妊娠・出産による退職状況は、「妊娠を機に、仕事をやめた」が最も多く27.9%、次いで「育児休業後に、仕事に復帰した」が25.8%、「結婚した時点で、仕事をやめた」が20.6%となっている。

性別でみると、男性の回答者は(妻が)「育児休業後に、仕事に復帰した」が最も多く、女性は「妊娠を機に、仕事をやめた」が最も多い。

年齢別でみると、20～24歳は、「妊娠を機に、仕事をやめた」が最も多く、25～29歳は「妊娠を機に、仕事をやめた」または「育児休業後に、仕事に復帰した」が最も多く、30～34歳は「育児休業後に、仕事に復帰した」が最も多い。35～39歳は「結婚した時点で、仕事をやめた」が最も多い。

図表Ⅱ-1-20 女性の結婚・妊娠・出産による退職状況 (SA)



		合計	結婚した時点で、仕事をやめた	妊娠を機に、仕事をやめた	出産を機に、仕事をやめた	育児休業後に、仕事に復帰した	育児休業をとらずに、仕事を継続している	無回答	非該当
全体		287 100.0	59 20.6	80 27.9	50 17.4	74 25.8	16 5.6	8 2.8	354
性別	男性	113 100.0	23 20.4	28 24.8	13 11.5	38 33.6	6 5.3	5 4.4	153
	女性	174 100.0	36 20.7	52 29.9	37 21.3	36 20.7	10 5.7	3 1.7	198
	無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3
年齢別	18～19歳	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	32
	20～24歳	9 100.0	0 0.0	8 88.9	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	68
	25～29歳	33 100.0	8 24.2	9 27.3	5 15.2	9 27.3	2 6.1	0 0.0	86
	30～34歳	93 100.0	9 9.7	30 32.3	16 17.2	32 34.4	4 4.3	2 2.2	79
	35～39歳	150 100.0	42 28.0	33 22.0	27 18.0	32 21.3	10 6.7	6 4.0	86
	無回答	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3
現在の婚姻状況	独身(結婚歴なし)	6 100.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	267
	独身(結婚歴あり)	24 100.0	5 20.8	6 25.0	7 29.2	1 4.2	3 12.5	2 8.3	6
	既婚	255 100.0	53 20.8	72 28.2	42 16.5	71 27.8	11 4.3	6 2.4	70
	無回答	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	11

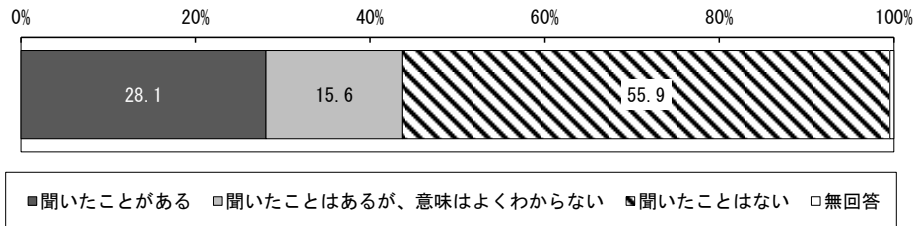
4) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問 13 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」という言葉を知っていますか。（○は1つ）

ワーク・ライフ・バランスの認知度は、「聞いたことはない」が最も多く55.9%、次いで「聞いたことがある」が28.1%、「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」が15.6%となっている。

性別、年齢別、現在の婚姻状況別でも、いずれにおいても「聞いたことはない」が最も多く、ワーク・ライフ・バランスの認知度は低い。

図表Ⅱ-1-21 ワーク・ライフ・バランスの認知度 (SA)



		合計	聞いたことがある	聞いたことはあるが、意味はよくわからない	聞いたことはない	無回答
全体		641 100.0	180 28.1	100 15.6	358 55.9	3 0.5
性別	男性	266 100.0	79 29.7	43 16.2	143 53.8	1 0.4
	女性	372 100.0	100 26.9	57 15.3	214 57.5	1 0.3
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3
年齢別	18～19歳	32 100.0	10 31.3	4 12.5	18 56.3	0 0.0
	20～24歳	77 100.0	23 29.9	10 13.0	44 57.1	0 0.0
	25～29歳	119 100.0	30 25.2	23 19.3	66 55.5	0 0.0
	30～34歳	172 100.0	56 32.6	23 13.4	93 54.1	0 0.0
	35～39歳	236 100.0	61 25.8	40 16.9	134 56.8	1 0.4
	無回答	5 100.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	2 40.0
現在の婚姻状況	独身（結婚歴なし）	273 100.0	73 26.7	45 16.5	154 56.4	1 0.4
	独身（結婚歴あり）	30 100.0	7 23.3	3 10.0	19 63.3	1 3.3
	既婚	325 100.0	95 29.2	52 16.0	178 54.8	0 0.0
	無回答	13 100.0	5 38.5	0 0.0	7 53.8	1 7.7

問14 あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」を実現できていると思いますか。(○は1つ)

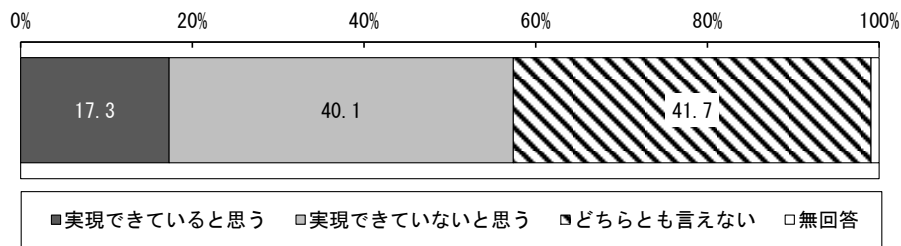
ワーク・ライフ・バランスの実現状況は、「どちらとも言えない」が最も多く41.7%、次いで「実現できていないと思う」が40.1%、「実現できていると思う」が17.3%となっている。

性別でみると、男性は「実現できていないと思う」が最も多く、女性は「どちらとも言えない」が最も多い。

年齢別でみると、18～34歳は「どちらとも言えない」が最も多く、35～39歳は「実現できていないと思う」が最も多い。

現在の婚姻状況別でみると、独身（結婚歴あり）と既婚は「実現できていないと思う」が最も多く、独身（結婚歴なし）は「どちらとも言えない」が最も多くあげられている。

図表Ⅱ-1-22 ワーク・ライフ・バランスの実現状況 (SA)



		合計	実現できていると思う	実現できていないと思う	どちらとも言えない	無回答
全体		641 100.0	111 17.3	257 40.1	267 41.7	6 0.9
性別	男性	266 100.0	52 19.5	113 42.5	98 36.8	3 1.1
	女性	372 100.0	58 15.6	143 38.4	169 45.4	2 0.5
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3
年齢別	18～19歳	32 100.0	4 12.5	7 21.9	21 65.6	0 0.0
	20～24歳	77 100.0	18 23.4	29 37.7	30 39.0	0 0.0
	25～29歳	119 100.0	21 17.6	49 41.2	49 41.2	0 0.0
	30～34歳	172 100.0	21 12.2	71 41.3	78 45.3	2 1.2
	35～39歳	236 100.0	47 19.9	98 41.5	88 37.3	3 1.3
	無回答	5 100.0	0 0.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0
現在の婚姻状況	独身（結婚歴なし）	273 100.0	38 13.9	100 36.6	133 48.7	2 0.7
	独身（結婚歴あり）	30 100.0	9 30.0	12 40.0	9 30.0	0 0.0
	既婚	325 100.0	60 18.5	142 43.7	120 36.9	3 0.9
	無回答	13 100.0	4 30.8	3 23.1	5 38.5	1 7.7

問15 <問14で「2」に○をつけた方におうかがいします>
「ワーク・ライフ・バランス」を実現できていない理由は何だと思いますか。(○は3つ以内)

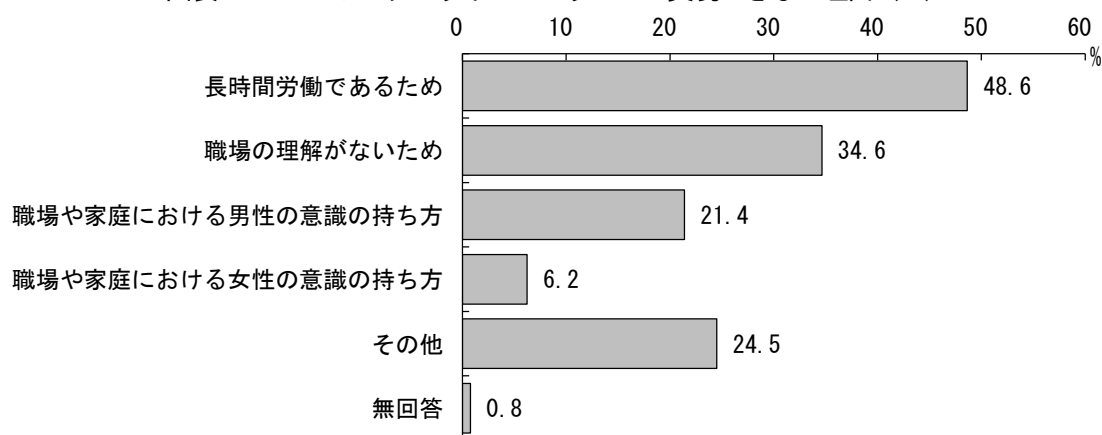
ワーク・ライフ・バランスが実現できない理由は、「長時間労働であるため」が最も多く48.6%、次いで「職場の理解がないため」が34.6%となっている。

その他としては、そもそもワーク・ライフ・バランスが社会に浸透していない、金銭面での余裕がないため等があげられている。

性別、年齢別でみると、いずれにおいても「長時間労働であるため」が最も多くあげられている。

現在の婚姻状況別でみると、独身(結婚歴なし)と既婚は「長時間労働であるため」が最も多く、独身(結婚歴あり)は「職場の理解がないため」が最も多くあげられている。

図表Ⅱ-1-23 ワーク・ライフ・バランスが実現できない理由 (SA)



	合計	長時間労働であるため	職場の理解がないため	職場や家庭における男性の意識の持ち方	職場や家庭における女性の意識の持ち方	その他	無回答	非該当	
全体	257 100.0	125 48.6	89 34.6	55 21.4	16 6.2	63 24.5	2 0.8	384	
性別	男性	113 100.0	60 53.1	36 31.9	29 25.7	2 1.8	22 19.5	1 0.9	153
	女性	143 100.0	65 45.5	53 37.1	26 18.2	14 9.8	40 28.0	1 0.7	229
	無回答	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	2
年齢別	18~19歳	7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	0 0.0	2 28.6	1 14.3	25
	20~24歳	29 100.0	16 55.2	12 41.4	3 10.3	2 6.9	4 13.8	0 0.0	48
	25~29歳	49 100.0	25 51.0	14 28.6	12 24.5	3 6.1	14 28.6	0 0.0	70
	30~34歳	71 100.0	32 45.1	29 40.8	9 12.7	2 2.8	19 26.8	0 0.0	101
	35~39歳	98 100.0	48 49.0	32 32.7	30 30.6	9 9.2	21 21.4	1 1.0	138
	無回答	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	2
現在の婚姻状況	独身(結婚歴なし)	100 100.0	51 51.0	33 33.0	17 17.0	5 5.0	24 24.0	1 1.0	173
	独身(結婚歴あり)	12 100.0	5 41.7	8 66.7	1 8.3	1 8.3	6 50.0	0 0.0	18
	既婚	142 100.0	69 48.6	48 33.8	36 25.4	10 7.0	31 21.8	1 0.7	183
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	10

5) 行政による支援方策について

問 16 行政が、結婚を支援する方策に取り組むことについてどのように思いますか。(○は1つ)

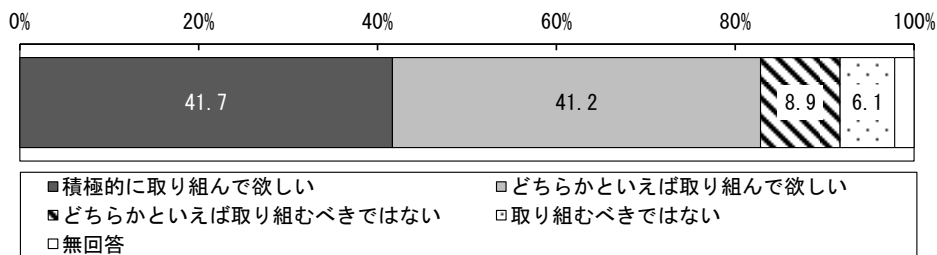
行政による結婚支援方策の必要性は、「積極的に取り組んで欲しい」が最も多く41.7%、次いで「どちらかといえば取り組んで欲しい」が41.2%、「どちらかといえば取り組むべきではない」が8.9%となっている。

取り組んで欲しい(積極的に取り組んで欲しい+どちらかといえば取り組んで欲しい)との回答割合は、82.8%で、全体の8割以上が、行政が結婚を支援する方策に取り組んで欲しいと考えている。

性別でみると、取り組んで欲しい(積極的に取り組んで欲しい+どちらかといえば取り組んで欲しい)との回答割合は、男性が78.6%、女性は86.0%となっている。

年齢別でみると、18~19歳を除き他の年齢層は8割以上が取り組んで欲しいと回答している。現在の婚姻状況別でみると、いずれにおいても8割以上が取り組んで欲しいと回答している。

図表Ⅱ-1-24 行政による結婚支援方策の必要性 (SA)



		合計	積極的に 取り組ん で欲しい	どちらか といえ ば取 組ん で欲 しい	どちらか といえ ば取 組む べき では ない	取り組 むべき では ない	無回答
全体		641	267	264	57	39	14
		100.0	41.7	41.2	8.9	6.1	2.2
性別	男性	266	121	88	27	24	6
		100.0	45.5	33.1	10.2	9.0	2.3
	女性	372	145	175	30	15	7
	100.0	39.0	47.0	8.1	4.0	1.9	
	無回答	3	1	1	0	0	1
	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	
年齢別	18~19歳	32	9	15	7	1	0
		100.0	28.1	46.9	21.9	3.1	0.0
	20~24歳	77	41	28	5	3	0
		100.0	53.2	36.4	6.5	3.9	0.0
	25~29歳	119	49	49	11	9	1
		100.0	41.2	41.2	9.2	7.6	0.8
	30~34歳	172	69	73	15	9	6
	100.0	40.1	42.4	8.7	5.2	3.5	
35~39歳	236	98	98	19	16	5	
	100.0	41.5	41.5	8.1	6.8	2.1	
	無回答	5	1	1	0	1	2
	100.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	
現在の 婚姻状況	独身 (結婚歴なし)	273	103	121	31	14	4
		100.0	37.7	44.3	11.4	5.1	1.5
	独身 (結婚歴あり)	30	11	13	1	3	2
		100.0	36.7	43.3	3.3	10.0	6.7
	既婚	325	147	126	25	20	7
	100.0	45.2	38.8	7.7	6.2	2.2	
	無回答	13	6	4	0	2	1
	100.0	46.2	30.8	0.0	15.4	7.7	

<結婚への意向（問1）・交際状況（問2）・婚活状況（問3）×行政による結婚支援方策の必要性（問16）>

結婚への意向（問1）別・交際状況（問2）別・婚活状況（問3）別で行政による結婚支援方策の必要性（問16）をみると、ほとんどにおいて、「取り組んで欲しい（積極的に取り組んで欲しい+どちらかといえば取り組んで欲しい）」と回答している。

結婚への意向別（問1）では、「結婚したいとは思わない」「どちらともいえない」を除くと、いずれにおいても約9割が「取り組んで欲しい」と回答している。

交際状況別（問2）では、「交際している人はいるが、結婚はしないと思う」「その他」を除き、8割以上がいずれにおいても「取り組んで欲しい」と回答している。

婚活状況別（問3）では、「していない」を除き、9割以上がいずれにおいても「取り組んで欲しい」と回答している。

図表Ⅱ-1-25 結婚への意向（問1）・交際状況（問2）・婚活状況（問3）
×行政による結婚支援方策の必要性（問16）

		合計	問16（行政による結婚支援方策の必要性）				
			積極的に 取り組ん で欲しい	どちらか といえ ば取り組 んで欲 しい	どちらか といえ ば取り組 んで欲 しい	取り組 むべき ではな い	無回答
全体		641 100.0	267 41.7	264 41.2	57 8.9	39 6.1	14 2.2
問1 （結婚への 意向）	結婚したいと思っており、結婚の予定がある	26 100.0	16 61.5	8 30.8	1 3.8	1 3.8	0 0.0
	早く結婚したいが、なかなか実現できない	56 100.0	25 44.6	24 42.9	5 8.9	1 1.8	1 1.8
	いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまで結婚しなくてもかまわない	89 100.0	31 34.8	47 52.8	5 5.6	4 4.5	2 2.2
	いずれ結婚したいが、まだ早いので今は結婚したいとは思わない	45 100.0	22 48.9	17 37.8	4 8.9	2 4.4	0 0.0
	結婚したいとは思わない	38 100.0	7 18.4	15 39.5	9 23.7	7 18.4	0 0.0
	どちらともいえない	42 100.0	10 23.8	20 47.6	8 19.0	2 4.8	2 4.8
	無回答	7 100.0	3 42.9	3 42.9	0 0.0	0 0.0	1 14.3
	非該当	338 100.0	153 45.3	130 38.5	25 7.4	22 6.5	8 2.4
	問2 （交際状 況）	結婚を前提として交際している人がいる	38 100.0	20 52.6	14 36.8	2 5.3	2 5.3
交際している人はいるが、結婚するかはわからない		38 100.0	14 36.8	18 47.4	5 13.2	1 2.6	0 0.0
交際している人はいるが、結婚はしないと思う		8 100.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	1 12.5	0 0.0
交際している人はいない		208 100.0	71 34.1	98 47.1	22 10.6	12 5.8	5 2.4
その他		2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
無回答		9 100.0	5 55.6	1 11.1	1 11.1	1 11.1	1 11.1
非該当		338 100.0	153 45.3	130 38.5	25 7.4	22 6.5	8 2.4
問3 （婚活状 況）	現在している	19 100.0	5 26.3	13 68.4	0 0.0	0 0.0	1 5.3
	以前はしていたが、今はしていない	15 100.0	5 33.3	10 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	していない	232 100.0	81 34.9	98 42.2	32 13.8	17 7.3	4 1.7
	これからしてみたい	31 100.0	19 61.3	12 38.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	4 100.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
	非該当	338 100.0	153 45.3	130 38.5	25 7.4	22 6.5	8 2.4

問17 <問16で「1」、「2」に○をつけた方におうかがいします>
特にどのような取り組みが必要だと思いますか。(○は3つまで)

行政による結婚支援方策内容は、「安定した雇用機会の提供」が最も多く58.6%、次いで「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が55.4%、「結婚したほうが有利となるような税制・社会保障」が43.9%となっている。

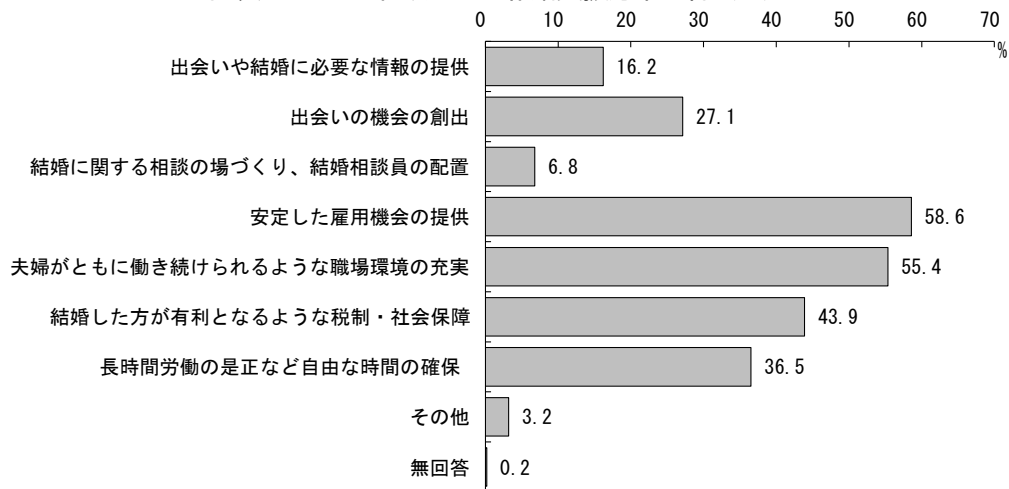
その他としては、まちコン等の参加費の低下、出産したほうが有利となるような税制・社会保障等があげられている。

性別でみると、いずれにおいても「安定した雇用機会の提供」が最も多い。

年齢別でみると、20～24歳は「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が最も多く、その他の年齢層は「安定した雇用機会の提供」が最も多い。

現在の婚姻状況別でみると、いずれにおいても「安定した雇用機会の提供」が最も多くあげられている。

図表Ⅱ-1-26 行政による結婚支援方策内容 (SA)



	合計	出会いや結婚に必要な情報の提供	出会いの機会の創出	結婚に関する相談の場づくり、結婚相談員の配置	安定した雇用機会の提供	夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	結婚した方が有利となるような税制・社会保障	長時間労働の是正など自由な時間の確保	その他	無回答	非該当
全体	531	86	144	36	311	294	233	194	17	1	110
	100.0	16.2	27.1	6.8	58.6	55.4	43.9	36.5	3.2	0.2	
性別											
男性	209	35	54	15	119	104	110	79	9	0	57
	100.0	16.7	25.8	7.2	56.9	49.8	52.6	37.8	4.3	0.0	
女性	320	51	90	20	190	189	122	114	8	1	52
	100.0	15.9	28.1	6.3	59.4	59.1	38.1	35.6	2.5	0.3	
無回答	2	0	0	1	2	1	1	1	0	0	1
	100.0	0.0	0.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	
年齢別											
18～19歳	24	5	3	0	11	6	10	10	2	0	8
	100.0	20.8	12.5	0.0	45.8	25.0	41.7	41.7	8.3	0.0	
20～24歳	69	11	15	6	41	44	30	29	0	0	8
	100.0	15.9	21.7	8.7	59.4	63.8	43.5	42.0	0.0	0.0	
25～29歳	98	22	29	9	59	53	35	42	2	0	21
	100.0	22.4	29.6	9.2	60.2	54.1	35.7	42.9	2.0	0.0	
30～34歳	142	16	39	7	81	79	70	51	10	1	30
	100.0	11.3	27.5	4.9	57.0	55.6	49.3	35.9	7.0	0.7	
35～39歳	196	32	58	13	118	112	86	62	3	0	40
	100.0	16.3	29.6	6.6	60.2	57.1	43.9	31.6	1.5	0.0	
無回答	2	0	0	1	1	0	2	0	0	0	3
	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
現在の婚姻状況											
独身(結婚歴なし)	224	44	60	14	129	121	83	88	8	0	49
	100.0	19.6	26.8	6.3	57.6	54.0	37.1	39.3	3.6	0.0	
独身(結婚歴あり)	24	4	7	1	15	12	10	8	0	0	6
	100.0	16.7	29.2	4.2	62.5	50.0	41.7	33.3	0.0	0.0	
既婚	273	33	71	18	163	159	137	96	9	1	52
	100.0	12.1	26.0	6.6	59.7	58.2	50.2	35.2	3.3	0.4	
無回答	10	5	6	3	4	2	3	2	0	0	3
	100.0	50.0	60.0	30.0	40.0	20.0	30.0	20.0	0.0	0.0	

<結婚への意向（問1）・交際状況（問2）・婚活状況（問3）・行政による結婚支援方策の必要性（問16）

×行政による結婚支援方策内容（問17）>

結婚への意向（問1）別で、行政による結婚支援方策内容（問17）をみると、「早く結婚したいがなかなか実現できない」回答者は「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が57.1%で、最も多くあげられている。

	合計	問17（行政による結婚支援方策内容）										
		出会いや結婚に必要な情報の提供	出会いの機会の創出	結婚に関する相談の場づくり、結婚相談員の配置	安定した雇用機会の提供	夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実	結婚した方が有利となるような税制・社会保障	長時間労働の是正など自由な時間の確保	その他	無回答	非該当	
全体	531 100.0	86 16.2	144 27.1	36 6.8	311 58.6	294 55.4	233 43.9	194 36.5	17 3.2	1 0.2	110	
問1 （結婚への意向）	結婚したいと思っており、結婚の予定がある	24 100.0	1 4.2	4 16.7	1 4.2	13 54.2	14 58.3	16 66.7	12 50.0	0 0.0	0 0.0	2
	早く結婚したいが、なかなか実現できない	49 100.0	12 24.5	21 42.9	5 10.2	25 51.0	28 57.1	18 36.7	18 36.7	1 2.0	0 0.0	7
	いずれ結婚したいが、理想的な相手が見つかるまで結婚しなくてもかまわない	78 100.0	19 24.4	25 32.1	4 5.1	45 57.7	44 56.4	24 30.8	28 35.9	3 3.8	0 0.0	11
	いずれ結婚したいが、まだ早いので今は結婚したいと思わない	39 100.0	8 20.5	5 12.8	2 5.1	22 56.4	22 56.4	19 48.7	14 35.9	0 0.0	0 0.0	6
	結婚したいとは思わない	22 100.0	3 13.6	2 9.1	1 4.5	16 72.7	10 45.5	6 27.3	12 54.5	1 4.5	0 0.0	16
	どちらともいえない	30 100.0	5 16.7	10 33.3	2 6.7	21 70.0	14 46.7	4 13.3	10 33.3	3 10.0	0 0.0	12
	無回答	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1
	非該当	283 100.0	38 13.4	77 27.2	21 7.4	167 59.0	161 56.9	140 49.5	98 34.6	9 3.2	1 0.4	55
	問2 （交際状況）	結婚を前提として交際している人がいる	34 100.0	1 2.9	4 11.8	2 5.9	19 55.9	20 58.8	23 67.6	19 55.9	0 0.0	0 0.0
交際している人はいるが、結婚するかはわからない		32 100.0	4 12.5	5 15.6	3 9.4	22 68.8	19 59.4	14 43.8	7 21.9	0 0.0	0 0.0	6
交際している人はいるが、結婚はしないと思う		5 100.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	3
交際している人はいない		169 100.0	42 24.9	55 32.5	9 5.3	96 56.8	88 52.1	49 29.0	64 37.9	8 4.7	0 0.0	39
その他		2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0
無回答		6 100.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	3 50.0	3 50.0	5 83.3	2 33.3	0 0.0	0 0.0	3
非該当		283 100.0	38 13.4	77 27.2	21 7.4	167 59.0	161 56.9	140 49.5	98 34.6	9 3.2	1 0.4	55
問3 （婚活状況）	現在している	18 100.0	7 38.9	8 44.4	2 11.1	7 38.9	9 50.0	11 61.1	6 33.3	0 0.0	0 0.0	1
	以前はしていたが、今はしていない	15 100.0	5 33.3	6 40.0	2 13.3	10 66.7	6 40.0	4 26.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0
	していない	179 100.0	26 14.5	36 20.1	8 4.5	111 62.0	99 55.3	68 38.0	71 39.7	6 3.4	0 0.0	53
	これからしてみたい	31 100.0	10 32.3	15 48.4	3 9.7	14 45.2	17 54.8	7 22.6	16 51.6	2 6.5	0 0.0	0
	その他	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	無回答	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1
	非該当	283 100.0	38 13.4	77 27.2	21 7.4	167 59.0	161 56.9	140 49.5	98 34.6	9 3.2	1 0.4	55
問16（行政による結婚支援方策の必要性）	積極的に取り組んで欲しい	267 100.0	41 15.4	77 28.8	21 7.9	147 55.1	147 55.1	140 52.4	108 40.4	12 4.5	0 0.0	0
	どちらかといえば取り組んで欲しい	264 100.0	45 17.0	67 25.4	15 5.7	164 62.1	147 55.7	93 35.2	86 32.6	5 1.9	1 0.4	0

問 18 行政が、経済的支援や保育サービス、仕事と子育ての両立支援といった現在の少子化対策を進めていくと、「子どもが欲しい」または「もう1人子どもが欲しい」という気持ちになると思いますか。
(○は1つ)

子どもを持ちたい気持ちになるための行政の支援方策の必要性は、「そう思う」が最も多く44.6%、次いで「どちらかといえばそう思う」が34.3%、「そう思わない」が9.0%となっている。

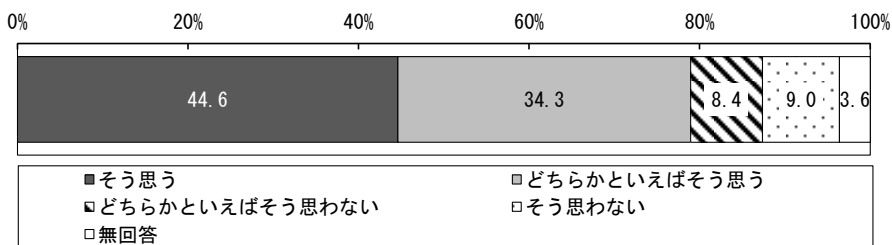
そう思う（そう思う+どちらかといえばそう思う）との回答割合は、全体で78.9%となっており、約8割が、行政が少子化対策を進めていくと、子どもが欲しい、またはもう1人子どもが欲しいという気持ちになると思うと回答している。

性別でみると、そう思う（そう思う+どちらかといえばそう思う）との回答割合は、男性が74.1%、女性は82.5%となっている。

年齢別でみると、18～19歳は56.3%だが、20～29歳は8割を超えており、30～39歳は約8割となっている。

現在の婚姻状況別でみると、既婚は83.7%、独身（結婚歴なし）は75.5%、独身（結婚歴あり）は66.7%となっている。

図表Ⅱ-1-27 行政の支援方策促進により子どもを持つことへの気持ちの変化（SA）



		合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答
全体		641 100.0	286 44.6	220 34.3	54 8.4	58 9.0	23 3.6
性別	男性	266 100.0	120 45.1	77 28.9	25 9.4	31 11.7	13 4.9
	女性	372 100.0	165 44.4	142 38.2	29 7.8	27 7.3	9 2.4
	無回答	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3
年齢別	18～19歳	32 100.0	6 18.8	12 37.5	6 18.8	7 21.9	1 3.1
	20～24歳	77 100.0	40 51.9	26 33.8	3 3.9	7 9.1	1 1.3
	25～29歳	119 100.0	61 51.3	35 29.4	11 9.2	7 5.9	5 4.2
	30～34歳	172 100.0	82 47.7	53 30.8	16 9.3	15 8.7	6 3.5
	35～39歳	236 100.0	95 40.3	93 39.4	18 7.6	22 9.3	8 3.4
	無回答	5 100.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
	現在の婚姻状況	独身 (結婚歴なし)	273 100.0	99 36.3	107 39.2	29 10.6	27 9.9
	独身 (結婚歴あり)	30 100.0	13 43.3	7 23.3	2 6.7	5 16.7	3 10.0
	既婚	325 100.0	169 52.0	103 31.7	20 6.2	25 7.7	8 2.5
	無回答	13 100.0	5 38.5	3 23.1	3 23.1	1 7.7	1 7.7

<現在の子どもの有無及び人数（問8）

×行政の支援方策促進により子どもを持つことへの気持ちの変化（問18）>

現在の子どもの有無及び人数（問8）別で、行政の支援方策促進により子どもを持つことへの気持ちの変化（問18）をみると、いずれにおいても「そう思う（そう思う+どちらかといえばそう思う）」の回答割合の方が高い。

子どもが「1人」～「3人」の回答者は「そう思う」の回答割合が最も高く、「4人以上」、「子どもはいない」の回答者は「どちらかといえばそう思う」の回答割合が高い。

図表Ⅱ-1-28 現在の子どもの有無及び人数（問8）×
行政の支援方策促進により子どもを持つことへの気持ちの変化（問18）

		合計	問18（行政の支援方策促進により子どもを持つことへの気持ちの変化）				
			そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	無回答
全体		641 100.0	286 44.6	220 34.3	54 8.4	58 9.0	23 3.6
問8（現在の 子どもの 有無及び人 数）	1人	133 100.0	78 58.6	35 26.3	5 3.8	7 5.3	8 6.0
	2人	111 100.0	57 51.4	33 29.7	9 8.1	11 9.9	1 0.9
	3人	37 100.0	18 48.6	11 29.7	3 8.1	5 13.5	0 0.0
	4人以上	6 100.0	2 33.3	4 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	子どもはいない	333 100.0	127 38.1	128 38.4	33 9.9	34 10.2	11 3.3
	無回答	21 100.0	4 19.0	9 42.9	4 19.0	1 4.8	3 14.3

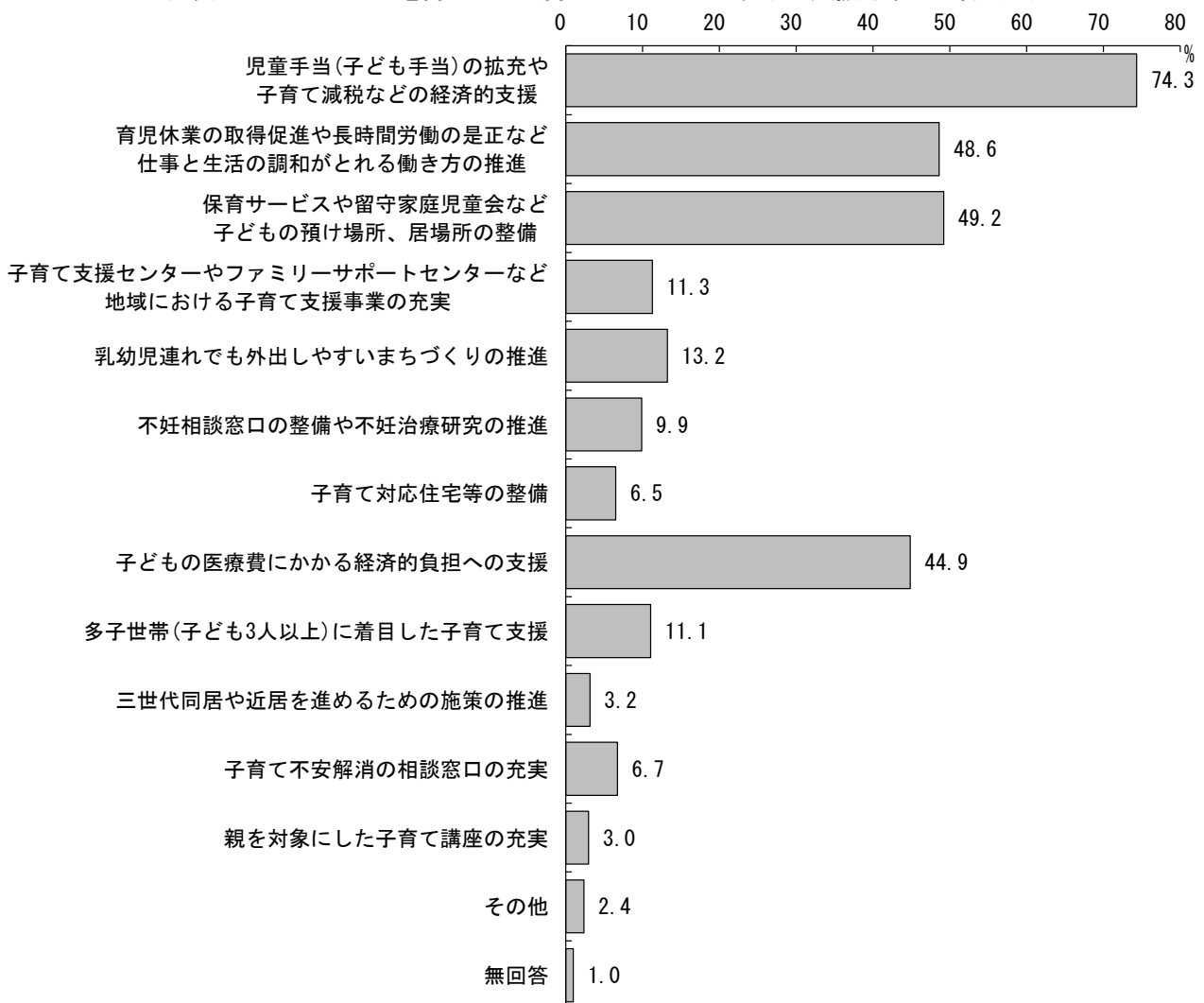
問19 <問18で「1」、「2」に○をつけた方におうかがいします>
 特にどのような政策をより一層進めていけば、そのような気持ちになると思いますか。(○は3つまで)

子どもを持ちたい気持ちになるための行政の支援方策の内容は、「児童手当(子ども手当)の拡充や子育て減税などの経済的支援」が最も多く74.3%、次いで「育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の推進」が48.6%、「保育サービスや留守家庭児童会など子どもの預け場所、居場所の整備」が49.2%となっている。

その他としては、保育料の減少、教育にかかる費用の無料化(幼稚園、小学校など)等があげられている。

性別、年齢別、現在の婚姻状況別でみると、いずれにおいても「児童手当(子ども手当)の拡充や子育て減税などの経済的支援」が最も多くあげられている。

図表Ⅱ-1-29 子どもを持ちたい気持ちになるための行政の支援方策の内容(SA)



	合計	児童手当 (子ども 手当)の 拡充や子 育て減税 などの経 済的支援	育児休業 の取得促 進や長時 間労働の 是正など 仕事と生 活の調和 がとれる 働き方の 推進	保育サー ビスや留 守家庭児 童会など 子どもの 預け場 所、居場 所の整備	子育て支 援セン ターや ファミ リーサ ポートセ ンターな ど地域に おける子 育て支援 事業の充 実	乳幼児連 れでも外 出しやす いまちづ くりの推 進	不妊相談 窓口の整 備や不妊 治療研究 の推進	子育て対 応住宅等 の整備	
全体	506 100.0	376 74.3	246 48.6	249 49.2	57 11.3	67 13.2	50 9.9	33 6.5	
性別	男性	197 100.0	161 81.7	88 44.7	85 43.1	21 10.7	20 10.2	12 6.1	10 5.1
	女性	307 100.0	213 69.4	157 51.1	162 52.8	36 11.7	47 15.3	38 12.4	23 7.5
	無回答	2 100.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
年齢別	18～19歳	18 100.0	14 77.8	6 33.3	7 38.9	2 11.1	3 16.7	1 5.6	2 11.1
	20～24歳	66 100.0	60 90.9	39 59.1	30 45.5	6 9.1	6 9.1	3 4.5	1 1.5
	25～29歳	96 100.0	67 69.8	54 56.3	47 49.0	13 13.5	16 16.7	9 9.4	7 7.3
	30～34歳	135 100.0	101 74.8	65 48.1	60 44.4	16 11.9	19 14.1	13 9.6	12 8.9
	35～39歳	188 100.0	132 70.2	82 43.6	103 54.8	20 10.6	22 11.7	24 12.8	11 5.9
	無回答	3 100.0	2 66.7	0 0.0	2 66.7	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0
現在の 婚姻状況	独身 (結婚歴なし)	206 100.0	137 66.5	111 53.9	96 46.6	27 13.1	25 12.1	16 7.8	14 6.8
	独身 (結婚歴あり)	20 100.0	15 75.0	9 45.0	9 45.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0	3 15.0
	既婚	272 100.0	216 79.4	123 45.2	140 51.5	27 9.9	41 15.1	31 11.4	16 5.9
	無回答	8 100.0	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		子ども の医療 費にか かる経 済的負 担への 支援	多子世帯 (子ども 3人以上) に着目し た子育て 支援	三世帯同 居や近居 を進める ための施 策の推進	子育て不 安解消の 相談窓口 の充実	親を対象 にした子 育て講座 の充実	その他	無回答	非該当
全体	227 44.9	56 11.1	16 3.2	34 6.7	15 3.0	12 2.4	5 1.0	135 69	
性別	男性	94 47.7	24 12.2	5 2.5	16 8.1	9 4.6	4 2.0	3 1.5	69
	女性	132 43.0	32 10.4	11 3.6	18 5.9	6 2.0	8 2.6	2 0.7	65
	無回答	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1
年齢別	18～19歳	4 22.2	3 16.7	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	14
	20～24歳	31 47.0	5 7.6	1 1.5	5 7.6	2 3.0	0 0.0	0 0.0	11
	25～29歳	38 39.6	8 8.3	1 1.0	11 11.5	5 5.2	2 2.1	0 0.0	23
	30～34歳	61 45.2	18 13.3	4 3.0	5 3.7	6 4.4	3 2.2	3 2.2	37
	35～39歳	91 48.4	21 11.2	9 4.8	12 6.4	2 1.1	7 3.7	1 0.5	48
	無回答	2 66.7	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2
現在の 婚姻状況	独身 (結婚歴なし)	94 45.6	14 6.8	6 2.9	20 9.7	12 5.8	1 0.5	2 1.0	67
	独身 (結婚歴あり)	10 50.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10
	既婚	120 44.1	40 14.7	8 2.9	14 5.1	3 1.1	11 4.0	3 1.1	53
	無回答	3 37.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5

<現在の子どもの有無及び人数 (問8)>

> ×子どもを持ちたい気持ちになるための行政の支援方策の内容 (問19) <

		問19 (子どもを持ちたい気持ちになるための行政の支援方策の内容)							
		合計	児童手当(子ども手当)の拡充や子育てなどの経済的支援	育児休業の取得促進や長時間労働の是正など仕事と生活の調和がとれる働き方の推進	保育サービスや留守家庭児童会など子どもの預け場所、居場所の整備	子育て支援センターやファミリーサポートセンターなど地域における子育て支援事業の充実	乳幼児連れでも外出しやすいまちづくりの推進	不妊相談窓口の整備や不妊治療研究の推進	子育て対応住宅等の整備
全体		506 100.0	376 74.3	246 48.6	249 49.2	57 11.3	67 13.2	50 9.9	33 6.5
問8 (現在の 子どもの 有無及び人 数)	1人	113 100.0	98 86.7	56 49.6	56 49.6	10 8.8	25 22.1	9 8.0	9 8.0
	2人	90 100.0	69 76.7	37 41.1	51 56.7	8 8.9	11 12.2	9 10.0	5 5.6
	3人	29 100.0	23 79.3	10 34.5	10 34.5	3 10.3	4 13.8	1 3.4	1 3.4
	4人以上	6 100.0	4 66.7	0 0.0	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	子どもはいない	255 100.0	176 69.0	135 52.9	124 48.6	34 13.3	24 9.4	30 11.8	17 6.7
	無回答	13 100.0	6 46.2	8 61.5	6 46.2	1 7.7	2 15.4	1 7.7	1 7.7
	全体	227 44.9	56 11.1	16 3.2	34 6.7	15 3.0	12 2.4	5 1.0	135
問8 (現在の 子どもの 有無及び人 数)	1人	48 42.5	7 6.2	4 3.5	4 3.5	0 0.0	5 4.4	1 0.9	20
	2人	44 48.9	15 16.7	3 3.3	3 3.3	1 1.1	4 4.4	1 1.1	21
	3人	16 55.2	13 44.8	2 6.9	0 0.0	0 0.0	1 3.4	0 0.0	8
	4人以上	2 33.3	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0
	子どもはいない	110 43.1	15 5.9	6 2.4	26 10.2	11 4.3	2 0.8	3 1.2	78
	無回答	7 53.8	0 0.0	1 7.7	1 7.7	3 23.1	0 0.0	0 0.0	8

6) さいごに・ご意見等

問 20 旭川で、安心して結婚・出産・子育て等するために必要な方策や、ワーク・ライフ・バランスの推進について、ご意見等がありましたらお書きください。

旭川で安心して結婚・出産・子育て等するために必要な方策や、ワーク・ライフ・バランスの推進についての意見等は、雇用の安定化、長時間労働・低賃金の解消、マタニティハラスメント対策をはじめ、子育てに関わる部分では、子どもの医療費支援、多子世帯支援、待機児童解消、長期での教育支援等に関する意見等があげられている。

図表Ⅱ-1-30 意見等 (FA)

	意見等
ワーク・ライフ・バランスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ワーク・ライフ・バランスの周知が足りていないと思われる。推進の為の事業者（一般の会社）への呼びかけと協体制の構築。 ワーク・ライフ・バランスについての講演会など、また旭川市独自、地元根付いた情報発信をしていただきたい。等
雇用の安定化	<ul style="list-style-type: none"> 男女の出会いの場を作るのも大切だが、職業の安定も結婚につながるのではないかと思う。 正規雇用体制を充実させて欲しい。 結婚、出産、育児をするために安定した就労が必要。雇用条件の整備などしてほしい。等
長時間労働、低賃金の解消	<ul style="list-style-type: none"> 労働時間が長すぎて結婚どころか、自分のことさえまならない。給料が上がらないため、先行不安。 雇用があっても低賃金では、結婚・子育ては難しい。かといって、転職も困難で、転職したとしてもよい職場で働ける可能性は低い。閉塞感を感じる世の中に、子どもを産みたいとは思わない。等
マタニティハラスメント対策	<ul style="list-style-type: none"> 最近のニュースなどで、出産、子育てを理由に職場にいられなくなるという者をよく見る。本当は子どもが欲しいのに、そのせいで妊娠などをあきらめてしまう人もいると思う。マタニティハラスメントの様なことがあるのなら妊娠・出産・子育てはしたくないと思う。妊娠・出産・子育てに対する社会的な見方や、各会社で妊婦、産婦や父母の扱い方、働いていても妊娠・出産・子育てを安心して行い、また、その後仕事に復帰することができるようにするための方策が整備されていったら良い。等
婚活支援	<ul style="list-style-type: none"> 婚活をしたいと思うが、旭川の街コンは、ほとんど土・日・祝日に行われる為、出勤日と重なり行けない。 出会いやそのための情報を提供してくれる取り組みを積極的に増やして欲しい。等
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 産後は家にこもりがちで、特に初出産で近くに親など助けてくれる人のいない場合、不安が強いと思うので産後ケアに関する専門な場所などあちこちにあつたらよい。ワーク・ライフ・バランスを上手に出来たとしても、給料が下がれば意味がない。保育料（認可）が高い。 インターネットや携帯から子育て相談などが気軽に出来たら嬉しい。等
子育て等に関わる経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> 結婚も子どもを産むことも、それほどメリットが感じられない。達成感、充実感はあると思うが、経済的負担が大きすぎるので、支援したらどうか。 子どもが欲しくても、金銭的なことや、仕事を持っていて、子どもをあきらめなければいけない人がたくさんいる。安心して産み育てられるまちにして下さい。等
不妊治療への経済的支援	<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療の自己負担が100%でつらい。東川のように助成をもう少しで良いので、増やして欲しい。条件もきつ過ぎる。仕事をしながらの通院は大変で両立が困難。（仕事上厳しく、困難であるため、退職した） 子どもを産みたくても難しい人たちへの医療の手助けがもっと充実して欲しい。たとえば、不妊治療への補助金の負担の増加。等
子どもの医療費支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの医療費の無償化。旭川周辺の町は中学校卒業まで無料のところばかり。初診時580円でも、3才以上は1割負担なので、3才になると転出しようと思っている人が多い。夫婦共働きでも認可保育園に入れず、とても苦勞している。 3歳未満児の医療費を以前のように無料にしてほしい。任意接種ワクチンを全て無料にしてほしい。短時間勤務制度や子の看護休暇などの制度を実際に使用できる企業は少ないと思う。等
多子世帯支援	<ul style="list-style-type: none"> 産婦人科医、小児科医への配慮をすることで、出産する環境が安定すると思う。多子世帯の負担（経済的&相談窓口など）に対するケアをすることで、安心して妊娠することが出来ると思う。この2点は現在足りていない部分だと考える。 2番目、3番目の子がいる多子世帯への支援を大きくして欲しい。等

	意見等
学童保育支援	<ul style="list-style-type: none"> 制度があってもそれぞれの職場（理解のない人もいる・現実、休みは取りづらい）に入ってしまうと、市が目標とする姿には難しいと思う。学童保育の朝の開始時間が遅く、冬は通勤時間を考えると子どもをもう少し早く預けたい。今のままだと、退職を考えている。 子どもが留守家庭児童会に行っているが、学年が上がるにつれ入れなくなる。仕事をしながら子育てするのは自分で選んだ道だが生活も苦しく大変。安心して仕事ができるように子どもを安全な場所に預けられる場所が欲しい。子育てタクシーはあったらとてもいい。等
待機児童解消	<ul style="list-style-type: none"> 待機児童が多い。仕事探しの時、日曜日は保育園が休みのため働けないことを考えると面接すら受けられない。日曜だけ託児所に預けるとしても1日の収入以上になってしまう。市内に親がいないので自分達で対処するしかない。等 保育園の待機児童を減らし、パートの人でも預けられるようにしてほしい。等
認可保育園の充実	<ul style="list-style-type: none"> 認可保育園をもう少し増やして欲しい。土日が必ず休みになっている仕事が少ないため、子どもが小さい間に働きづらく、経済的にも厳しくなり、子どもが欲しくても出来ない現状になってしまっている。 認可保育料が（0歳～2歳児）高い。延長保育ができる保育園をもっと増やして欲しい。時間も延ばして欲しい。等
保育所の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等の施設が不足しているのに結婚、出産は困難。 保育園の保育時間の延長を希望する。理想的には午後7時まで預かって貰えると、6時に会社を出ても安心して迎えに行ける。等
病児保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが体調不良時でも預けられる施設（が必要）。等
長期教育支援	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが小さいうちは児童手当、医療費の軽減等とても助かるが、大きくなって大学へ進学する際の費用の負担が大きい。道外や市外に進学希望しても行かせられるか不安。 支援やサービスの部分がどこまでできるのかにかかっている。ほぼ義務教育になっている高校、そしてその先の進学の部分もこの先増えていく。生まれた直後のみの支援サービスではきつい。人を育てるといふ考えなら長期的なサービス、支援が望ましい。等
等	